京城日報

六月二十二日夕刊（朝刊併せて八頁）

◇獨休戰延期要求

巴里來電に據れば獨逸は更に聯合國に對して回答を猶豫す可く休戰期間の延長を要求したりと（倫敦電報）

◇墺國對案裁定

聯合國に回答せる對墺講和條約の同國對案は其條項に由り之を分ちて專門家委員會に交附され該委員會に於て夫々對案を裁定せしむることとなれるが該案の上には一纏めとし講和會議にて審議す可し（巴里電報）

◇日人入國拒絕要求

米國上院議員ドフィーラン氏は移民委員會に於て演說し外人の入國取締法案を制定し日本人の入國を拒絕せん事を要求し米國は太平洋に於る戰爭に對し備ふるところあらざる可らずと警告せり（華盛頓電報）

◇加奈陀罷業形勢

其筋着電に加奈陀ウエニック市及び晚香坡に於る同盟罷業は其後差したる發展無きも晚香坡に於る日刊新聞は印刷職工の罷業によりて休刊し形勢不穩となれり今次加奈陀に於る一般罷業は他に種々原因あるもの丶如く同政府は罷業主謀者九名を引致せり（東京特電）

◇張孟結局妥協か

中央政府慰撫的態度に出でん

電報の如く張孟兩將軍關係切迫に就き我が官憲にては萬一の際長春城內外居住邦人の附屬地內避難準備整ひ居れるが奉天、吉林兩省境界地方に住める支那人等には既に安全地帶に向け避難せる者あるが如し孟氏の軍隊は到底兵數其他に於て奉天軍に匹敵すべくも非ざるより省內の馬賊を召集し彼等に活動せしめて奉天軍の勢力を殺ぎ尙一方張氏に反感を抱ける奉天省內の馬賊團とも默を通じ牽制策を行はんとするもの丶如し萬一孟氏の對抗策奏功するも紊亂極度に達せる吉林の經濟界は永く孟氏の留任を許さざれば、之れが動機となり孟氏は結局圓滿辭職を以て解決するに至るべく孟氏として其間の事情を看取せるも、唯だ張氏に對する反感より非常手段に出でんとするものにて、中央政府に於ても目下時局多端の際なれば孰れ慰撫的態度を以て兩者の妥協を圖るところとなるべく右は孟氏結局の目的ならんかと觀測せらる（長春特電）

◇外交官異動說

珍田大使辭任は信じ難し

△加藤恒忠氏 の選擧大使說は容易に肯定す可らず目下オムスクに松島肇氏あり浦鹽には大谷總司令官及び松平政務部長あり依つてオムスク政府承認實現するも此際加藤氏を巴里より召還して赴任せしむる程急ぐ必要無かる可し氏は曾て白國公使たりし閱歷に不足なきは勿論なるも將來の事は豫測し難し今回加藤氏歸朝は或は講和會議に關する報告並に將來の打合せの爲にあらずやとも推せらる

△珍田駐英大使 の辭任說あるも容易に信ずる能はず今日の情況は珍田子に執りて何等辭職す可き事情存在するとも思はれず或は會議結了後慰勞の意味にて歸朝を許さる丶やも知れざるも同子の辭任は肯定し難し若し子に辭意あらば外務省は必ずや慰留に努む可しと信ぜらる

△石井駐米大使 の歸朝は公用により歸朝するものなる可し現下の對米關係は大切の時期なれば大使を缺ぐ可らず然るに同大使の歸朝あるは必ず深き事情の存在を豫想せざるを得ず若し又石井大使の後任を物色すれば十目の見る處十指の指さす處世評の如く順序として日置瑞西公使なるも或は當路の都合にて幣原次官親任するも測られず平和克復後の駐獨大使の人選に就きては當局の苦しむ所なる可く井上大使松井大使は最適任なる可きも其就任を肯定し難きものあれば結局日獨開戰當時駐獨代理大使たりし船越男の起用を見るに非ずやと（某外交通信＝東京特電）

◇勞働協調機關規約發表期

床次內相澁澤男を初め朝野名士の計畫に係る勞働協調機關は遲くも本月末迄には其內容を發表する豫定にて爾來內務省地方局にて規約起草中なるも資本家側に於る議論頗る多くして案外捗らざれば本月に至らざれば大體的成案を發表し得ざる可しと傳へらる（東京特電）

◇戶澤子當選

二十一日子爵外山光輔氏の補缺選擧執行され子爵戶澤正己氏當選せり（東京特電）

◇兩知事後任

臺灣民政部內務局長に轉任せる川崎卓吉氏の後任として內務監察官池田宏氏福島縣知事に任命さる可く又洋行す可き埼玉縣知事岡田忠彥氏後任は大阪府內務部長柴田善三郎氏に決定せり（東京特電）

◇神宮皇學館長

廿一日左記の通り辭令ありたり（東京特電）

東京帝大文科大學長文學博士正三位勳二等　上田萬年

兼任神宮皇學館長（二等）

◇平井支那鐵道顧問辭任說

支那鐵道顧問平井博士は病氣の爲め辭任申出たるが六月の任期滿了と共に退任し其後任には現鐵道院技監工學博士岡田竹五郎氏推薦さる可しと傳へらる（東京特電）

◇西伯利出征部隊歸還

西伯利出征部隊の福岡第廿四聯隊（二中隊缺）將校十七名下士卒五百七十五名は昨年クラエフスキー戰鬪後沿海州最北端なるニコライスクに戰功を樹て出征八箇月目の六月八日黑龍江を下流し同十日御用船〇〇丸に搭乘小樽、青森に寄港し青森にて御用船〇〇丸に移乘し二十一日朝門司に入港直に上陸同夜

◎關門海底隧道測量工事

關門海底隧道測量の爲め來關せる鐵道院工務局技師平井喜久松氏は去る十一日より測量に從事し下關驛及び幡生驛の或地點より小門を經て彥島なる豫定線は十八日を以て一線丈け決定せり氏曰く之より海底線の測量に移る筈なるも尙他の一線を測量し彼我研究して決定さるべく今の所地方の利害にも關係あるを以て其點及隧道の出口等に就ては言明するを得ず當初の計畫に依れば彥島の陸地を掘鑿し夫より竪に海底を掘る方所謂竪坑式に依る筈なりしも實際は困難なるより海上よりボーリングするに決し九州大學の某博士に之が土質を調査する筈なり彥島の陸上隧道入口より對岸の出口に至る迄の距離は約四哩にして海底線は四分の三哩に過ぎず何れ來月上旬頃には確定線路を決定し得べし（下關）

◎滿鐵株主總會

七年度の業績＝將來の方針

滿鐵第十八期定時總會は二十一日午後二時十分鐵道協會にて開會、野村社長會長席に着き中西副社長、川村、龍居兩理事、河上、馬越、大橋、小山、佐々木各監事、入江拓殖局書記官等及び株主七十餘名出席の上頭取より松本、片山兩理事の就任を報告し七年度決算の承認及び

▲利益分配案 を議題とするに先だち利益分配案の說明に入り株主配當は最高率を取り新に社債總額一億四千萬圓に達せる現狀に鑑み社債償還積立金七百萬圓を計上せる旨及び退職役員慰勞金は中村元總裁、國澤元理事長に贈呈するものなるを述べ施設事項營業事項に就きては就任日淺くして從來の關係に通ぜざるを以て川村理事をして述べしむとて川村理事より七年度事業費は二千二百九十九萬圓にして前年に比し五百三十五萬圓を增加し營業純益七百二十六萬圓にして前年に比し四割八分の增加を見たりとて之れを各項目に亘り

▲精細に說明 し監事を代表して河上謹一氏より損益計算書貸借對照表を承認せる旨を報告し了るや四五の株主より交々所得稅撤廢未募集株募集並びに增資、滯貨と荷主の損害石炭の需要に對する供給不足大連埠頭の火災、事業資金調達、外債償還方針、撫順炭坑評價の基礎如何、大連管理局の奉天移轉、運輸營業方法の改革等に就て質問、希望及び意見の提出あり川村理事大橋監事之に應酬し尙ほ中西副社長より左の意味の答辯あり四時滿場一致原案を承認散會せり

▲副社長答辯 目下會社の事業資金が行詰り居る事は予も同感なり予個人としては腹藏なく語りたる上公表するの機會を得べしと雖も但し余としては余の抱懷する案の行はれざる曉は斷じて此の席に居らざる事を明言す未募集株二千萬圓を現在募集するも果して何れ丈けの効力あるや疑はざるを得ず今の處增資の

必要は切迫し居らずと信ず石炭の供給が需要に伴はざるは事實にして之に就きては將來の方針を研究中なり總て方針を新にして事業を經營するに就きては機關も作らざるべからず新人物をも求めざる可からず目下之れに就きて調査中にして次の總會には其の結果を開陳し得べし會社は其經營各個に就て利益を生ぜず中には損するものもあらん、大局にて利益を生めば差閊へ無しと信ず

▲滿鐵決算

配當年一割

二十一日滿鐵定時總會に附議されたる利益計算書の內容左の如し

二千三百十九萬三千圓	七年度利益金
七百九十萬五千圓	前年度繰越金
合計三千百零九萬八千圓	

此の處分案左の如し

百十一萬九千圓	法定積立金
三百五十萬圓	政府配當金
三百十二萬圓	政府以外株主配當金
二百零八萬圓	同上第二配當金
五十萬圓	特別積立金
七百萬圓	社債償還積立金
三十萬圓	役員賞與及交際費
十七萬圓	退職役員慰勞金
七百八十一萬八千圓	翌年度繰越金

千圓以下切捨てに付總計に合はざるべし

又計算書に不明の點あれど此の儘掲載しおく普通配當六分第二配當四分合計一割の配當となる

▲鮮鐵經營勘定 尙ほ朝鮮鐵道の經理に關する分は收入一千七百九十七萬七千三百三十六圓三十八錢九厘にして內經費一千四百二十五萬七千零二十四圓七十二錢四厘を差引き利益金三百七十二萬零三百十一圓六十六錢五厘となり利益金の中三百四十三萬三千二百四十三圓六十八錢を總督府に納付し二十八萬七千零六十七圓九十八錢五厘を滿鐵にて取受せり（東京特電）

◎株式暴落す

京城現株冷靜

再度の紛擾 によりて人氣の大頹壁を來し此の數日來主力株花形株は連日反落を續け殊に一時買方の熱氣を煽りし株界も漸く人氣株に對する行過ぎ態の緊張を喚び折柄東株二十一日後場寄は大株二十一圓十錢同新十四圓六十錢郵船親十三圓五十錢同新二十四圓鐘新二十九圓八十錢の大激落を報じ其他雜株も一齊安氣配となり之と逆行上昇を辿りしは僅に砂糖株あるのみにて遂に新甫發會値を下廻りしものも少からざりしが同後場止め大新の更に八圓安を除く外總じて一二圓乃至六七圓方の反發を報ぜり而して昨

▲暴落の動機 は中旬買方の入超にあるが如きも一面仕手關係の商策の潛める事又一の原因たるべし此の遂天井打たるが上げ相場に對する一時的の波瀾なるかは疑問たるも連日の惡落續きは當地現株界にも確に影響を及ぼし居れるに相違なきも近事賣買の盛んなる鮮內株は何れも實質を選びて投資されつゝあると未だ採算無視の突飛高を演ずる危險株の少きだけに人氣は冷靜を保ち居れるが如く殊に獨調印承諾說もあり再び

▲買方活躍 の機會迫れると共に強氣の理想値を實現するにあらざるか何れにしても平和後の株價は現在の値頃を以て甘んずるものにあらずとは尤も多く行はる丶觀測なり

◎仁川期米商盛

取組平均十四萬餘石

仁川米豆取引所株の連騰は賣買手數料引上仲買人增員を強材料として見越し居れるは勿論なるもその現在の取組高も頗る活況を呈し東京並に大阪の大市場を拔きつゝあり（夜越高は少し）乃ち六月二日立會開始後二十一日に至る十八日間の賣買總計は二百五十九萬五千三百五十石の多額に上り廿一日の如き前後場合計二十二萬石の大取組を見たるが之れを開場日數十八日に割れば一日平均十四萬五千石を超ゆ居れり尙ほ期米相場の形勢は明日の切迫に伴なひ漸く保合の狀態を脫したりと見られ今後その波瀾甚大の模樣に付一層取組石數は殖ゆ來るべしと

◎京城在米豐富

休日正米氣配

依然として高値覺ねの念失せざる京城正米市場は仁川期米昨後場高の刺戟を受け二十一日朝も多少

▲上足氣分 を含める節なきにあらざるも河筋物の廻米增加と賣物閑散に壓迫されて兎角撚頭の氣力乏しきが如く今朝は引續き精米筋の買控へ旁地摺神力上三十五圓三十錢見當の持合保續せるが之を前週半は頃の高値に比較すれば約三四十錢方なるが昨今一部當業者間の說として觀測によれば現下京城附近の在米約三十萬叺と算せられ今後新穀出廻り期迄三箇月間の消費米を七萬石と假定する時は

▲約半數 の過剩を來す譯にて今後如何に移出註文の盛況を見ることも結局幾分の剩餘を生ずべきは免がれ能はざる處にして前途の成行も略察するに難からず時々の波瀾は兎も角として近き將來に於て一大瓦落あるは避け難かるべしと

◎全鮮穀物貿易商大會

第二日＝各問題附議

二十一日朝刊より續く

第三　鐵道倉庫の增設及び野積保管方法改善方要望の件（仁川提出）

第六　米穀集散地に鐵道倉庫を普設することを申請の件（群山提出）

仁川力武、群山三雲氏より『運送を託せる貨物が數旬間も野積の儘放置されある場合に於て雨露の爲めに受くる荷主の損害は尠少なるものにあらず鐵道は貨物集散多き驛には倉庫を急設し其の損害除去に努められたし』と述べ岩崎貨物主任は『野積の場合は荷主が雨露の豫防を爲すべきものにて鐵道が爲すものにあらず。本社は各地に多數の倉庫を建設する希望を有するも今年は豫算の都合上建設不可能なり至急を要する地方にては自ら建設さるゝ樣計らはれたし』と答へ平壤齋藤氏は滿洲の例を擧げ群山松本市五郎氏群山の例を擧げ

▲滿鐵の再考 を求め天日氏の發議にて京城、仁川、鎭南浦、群山より一名宛の委員を擧げて京管局に口頭を以て申請することに決定

第四　朝鮮鐵道による輸送に關し優先權を附與されむことを申請する件（京城提出）

京城天日氏起立し『米穀不足の秋に於て穀物の輸送遲延するは一般經濟界に及ぼす影響尠からず、內地に於ては特に運賃割引さへ實施されつゝある程なれば鮮地に於て輸送の優先權を要求するは食糧調節の上より觀て甚だ緊要なり』と述べ滿場一致にて可決し出席岩崎貨物主任は貨物の輸送は四十五年發布の『鐵道運輸規程』に據るものなれば總督府に對し制令の改更を請願せざるべからざるものなりと注意する所あり、前項運輸に關する請願委員より其筋に請願することに決定

第五　農產物輸送機關の施設に對する保護獎勵に關する件（京城提出）

京城高野氏より『貨物運輸の便を圖るには各地に輕便鐵道を敷設するに若くはなし輕便鐵道には年七分の補助あるも更に一分を增し八分の補助を與へらるゝ樣當局に請願し以て穀類輸送の急速を圖るべし』と說明し可決

第七　滿鐵直通貨物の內阪神行の荷物に對しては釜山と阪神間は特に汽船を以て連絡輸送をなすことを滿鐵會社に申請すること（釜山提出）

釜山高田氏より『釜山埠頭並に各地沿岸の滯貨は阪神航路の汽船不足に基因す滿鐵は朝鮮鐵道委任經營の趣旨に基づき汽船を以て連絡輸送を爲すべき旨請願するの要あり』と述べ

▲滿場の贊成 あり京城執行氏より臨席の岩崎貨物主任に其の意見開陳を求めたるも岩崎氏は本件は滿鐵一個の問題にあらず鐵道院、朝郵其他に關係深き問題なれば單獨に意見を述ぶる能はずと避く

第八　朝鮮航路を鴨綠江まで延長の件（新義州提出）

義州多田氏より『平北は米の產出六七十萬石に過ぎざるも奥地開發と產米增進の爲め朝郵汽船の航路を鴨綠江口迄延長すべし今日迄たる新義州は木材と穀類にて一千二百幅の滯貨あり急速なる施設を要す』と主張し大池議長は『本件は既に全鮮商業會議所聯合會にても滿場一致にて可決したり故に同聯合會と同一步調の下に實行方法を講ずるの要あり』と贊成し、可決

第九　阪神定期航路急速實行の件（鎭南浦提出）

鎭南浦馬場氏は『本件は來年より施行さるゝやに聞きたるも朝鮮各地の狀態は來年迄拱手して待つ能はざるものあり此の際至急施行方を申請すべし』と說明し大池議長は本件も前項鴨綠江まで航路延長の件と同樣商業會議所聯合會にて可決したる所なれば同會と同一步調を採るべしと述べ可決し、正午休憩（未完）

▲訂正　二十二日朝刊全鮮穀物貿易商大會記事中『第二穀類の鐵道輸送に關する事項』とあるは鐵道貨物證券（荷造不完全より生ずる、損害は荷主の負擔とす）この事項は檢査不合格品には適用せざる事及び無蓋車積と雖も數の責任は鐵道局に負擔する事を申請する事（平壤提出）鐵道積穀物の着驛領收の際不足其他の事故損害は成るべく遲滯なく驛をして辨償せしめ若し鐵道局に於て負擔の責任なき場合は其の事由を明記したる着驛長の證明を以て賣主をして負擔せしめ取引上の圓滿を期する事（平壤提出）以上を省略したるものなるが故に訂正す又平壤奧田榮次郎とあるは英次郎氏の誤に付訂正

◎釜山正米硬調

內地期米廿一日朝より引續き高調に進み大阪後場止め五十五錢の高値に二十二日朝釜山期米市場は活況を呈し七八十錢高三等神力三十八圓八十錢の高値にて五千個の商談出來たり大豆は弱保合にて京釜線十六圓五十錢、京釜線十五圓七十錢にて都合七百個の商談出來たり（釜山特電）

人事消息

▲天野喜之助氏 ▲谷荒縣市氏 廿二日朝退城 ▲藤田全南警務部長 ▲山口恒太郎氏 ▲小泉策太郎氏 同上 ▲馬詰次男氏（東亞煙草會社朝鮮總支配人）來る二十六日東京に於て開催の定期株主總會に列席の爲二十二日朝急行にて東上滯在往復共三週間の豫定

八面鋒

◆面目に關すと獨逸魂を發揮して調印拒絕を主張せし車出入倒る

◆後任の前陸相之助は中產階級と軍閥の巨頭但し調印派の大頭目

◆調印は聯國の滿足に値するも中產と軍閥擡頭は過激派の大敵也

◆堅實派の擡頭は過激派勃發を刺戟するに非ざるか獨は益々混亂

◆調印が布爾須土條約の轍を踏まざらん事を願はざるを得ざる也

◆獨を震源地となしたる大地震は世界を搖り壞さんとして漸く止

◆中心を巴里に移せる震源地は各國に震動を傳へて人心尙ほ恟々

◆何時かは又もや地震の起ること調印を以て地震防阻と思ふは愚

◆更に熱湯の如き過激の大海潮は到る所に滔々たり突其れ危哉

◆獨大統領失脚伊國內閣辭職塊匈紊亂と英米佛の勞働界を見よ

◆地下の大鯰が吐息を突き時々寢返りを打ちつゝあるにあらずや

◆調印と共に西園寺侯の歸朝傳へられ又珍田委員も歸朝す可しと

◆關侯の歸朝は大きに御苦勞樣なれども珍田委員の歸朝は不可解

◆珍田委員は我委員中に於ても最も好く奮鬪したる人或は不平乎

◆世界改造株式會社は未だ披露も張らず調印の後始末が大事也

◆而も我唯一功勳者が猥りに巴里を去るは我に取つて損多く益少し

◆口善惡なき巴里雀は原因を牧野男に歸す恐か其うでも無かる可

◆東京名物安全週間の幹部自殺草六區に自動車を乘り廻して大騷

◆安全が自ら不安全を作れば安全無寧ろ不安全週間と改名せば可

◆京城本町通は不安全中に安全あり週間に非ず年中也安全年間か

◆山懸事件大問題となる殺人に上下無し其機に於て智も愚と一致す

◆結果に就て論ずるよりも先づ其の動機を質せ行爲は無差別のみ

◆縱は盲目なりと云ふ殺人の隙間も盲目的行爲多し何れも常識外

◎致富秘訣 金を殖やす法（無代進呈）

世の中に金を殖やす法はいろ／＼あるが、其の原則に適へば何れも極めて簡單なものである。

測量員速成講習錄

官衙及工業界に於ける需用多く最も有望なるは測量技師とす

東京市京橋區南傳馬町一丁目　通信工手學校

大根種子大賣出

尾張宮重大根種子

一合　金貳拾錢

一升　金一圓六十錢

一斗　金拾貳錢

カタログ無料送呈

愛知縣岩倉町　愛知植物園

振替　東京三一七九〇　大阪二九九三八

醇良 粕取燒酎

京城蓬萊町　三巴酒造株式會社

電話一〇六七番

洋品店 百貨店 化粧店の

是非見なければならぬ

ハリキン商店

洋品界

店名明瞭に記入あるハガキにて申込に限り無料にて送呈す

ローヤル靴下 HRKメリヤス ハリキン石鹼 發賣元

東京市日本橋區藥研堀町

株式會社 播金商店 東京本店

通信卸賣部

▲價格低廉

▲堅牢無比

京城本町一丁目（郵便局前）

北村號靴店

電話一四七七番

住宅大拂底

京龍市民は今や生活上の危機に逢着せり

内地各都市にも見る能はざる高率の家賃 その解決は府勢の盛衰にも關する大問題

近來我京龍に於ては甚だしく住宅の缺乏を見るに至つた。這は我々大部の京龍市民に取つて閑却すべからざる問題であらねばならぬ。何故と云ふに住宅の不足は借家人に取りて居住移動の自由を制縛さる・のみならず益々家賃の値上げを餘儀なくせしめられ家主の横暴に對しても何等の抵抗を試むる能はず益々生活の壓迫脅威に苦しまねばならぬからである。のみならず物價は依然として昂騰を續け米價の如きは殺人相場と呼ばれた昨夏の高値を再び實現するに至つた。斯うした生活問題の危機に逢着して居るに拘らず京龍の如く住宅の不足を告げ不當の家賃に苦しんで居る處は恐らく内地の各都市に於ても見ることが出來ないであらう。東京大阪等の大都市に於る住宅問題は既に市民に於て幾度か論議され當局に於ても夫々善後救拾の策を講じて居るが京龍に於ては市區改正其他の事よりして益々住宅の減少を見んとする現象を呈して居る。然も京龍の住宅たるや温突改造或は一時的間に合せの住宅多く粗惡不潔にして家賃の比率内地の大都市よりも高きに失してゐる。とは事實である。斯ては唯に各個人の生活を脅かすのみならず延いては府勢の盛衰にも關しはすまいか。

僞らざる讀者の叫を募集す

此の意味に於て本社は廣く讀者諸君から住宅問題に關し事實を基礎とした實見、所感を募りたいと思ふ。讀者幸に本社の意を諒して奮つて投稿あらんことを希望す、尚掲載の原稿の筆者に對しては薄謝を呈することになつて居るから住所氏名は明記して頂きたい。

朝鮮海峽横斷飛行

『曾我』號の修理を俟て決行

大西洋横斷飛行の成功した今日問題ではないが興味はある

帝國飛行協會主事 宍戸甲子郎氏談

先年來大阪なる曾我氏より寄贈された飛行機『曾我』號が端なくも尾崎氏飛行の際に破損したので今回是が修理中であるが遲くとも

◇今月末迄 には完成する筈である同機はトラクター式であつて乘り馴れない人に對しては甚だ勝手の違ふ處から自然永らく破損の儘打捨て・あつたのだが漸く是に對する熟練者も出來たので愈々修理に着手した次第である其以前の帝國飛行協會に於ては朝鮮海峽横斷飛行の計畫もあつたらしいが國民協會と併合するに際して幹部の顔も異なり其の結果

◇お流れと なつてゐたそこで今回曾我號の竣成を俟つて前回の計畫とは全然別に朝鮮海峽横斷飛行の計畫も立てられてゐる然し東京大阪間に比して遙かに短距離な而も大西洋横斷飛行の成功を見たる今日に於ては問題とするに足らぬもゝがあるけれ共曾て人の經驗しない處だからまだ氣流の關係等も知られて居ないし多少の興味は幾くであらう其他

◇郵便飛行 等の計畫もあるが何分にも今日の場合只其資金問題が解決せぬ爲めに充分の事も出來兼ねる目下政府とも相接近しつゝある折柄協會も何時迄も眠つてはゐない心算だ

先づ下關から釜山へ訪問しようと

曾我號にては京城日報社でも 飯沼金太郎氏語る

今回飛行協會の方では飛行機の修理中であつて近く其の完成を見る事と思ふが是れが完成の曉には愈々朝鮮海峽の横斷飛行を遂行して見たいと思つてゐる協會の方でもそれ等の計畫は無いでもないらしく聞いてゐる先づ下關より釜山に飛行なして聽ては鷄林の空を京城に向つて飛行し京城日報社でも訪問して見よう(東京支局)

横須賀へ行幸啓

近く仰出されん 獨潜水艦を尊覽の爲め

日進以下の凱旋艦隊が率ゐて十八日横須賀に着せる七隻の獨逸潜水艦は追つて一般公衆にも觀覽せしめ次で全國巡航の途に上るべきが海軍當局に於ては之を天覽台覽に供し奉るべく海軍大臣より正式に 天皇陛下並に皇太子殿下の横須賀行幸啓を奏請中なる筈なれば多分同艦艇の同地在泊中近く仰出さるべく尚今泉調東艦長、長澤日進艦長以下の將校に對しては不日拜謁並に賢所參拜を仰付けらるべしと承はる

勇ましい木遣音頭で

目出たく据わつた公會堂の礎石

京城公會堂新築工事は着々進捗し二十二日午前十時から定礎式を舉行した定礎の文字は商業會議所原田會頭の揮毫である、定刻來賓多數式場に參列するや釘本副會頭の式辭で式は始まり次で職工の勇ましい木遣音頭で礎石は高々と吊上げられ定めの位置に据ると釘本氏自ら礎石に漆喰を施し次で神官の修祓と祝詞があり神事厳かに終れば土木建築協會を代表して松本氏の祝辭があり參列諸員玉串を捧げて十一時半式は全く終りを告げた當日の主なる來賓は宇佐美内務部長官、生田商工課長、鹽澤警務部長、鹽谷營繕課長、金谷府尹、補原典獄、小牟田本町署長、商業會議所議員、土木建築協會關係者等であつた

公會堂の定礎式 鏝を手にせるは釘本副會頭

過激派大討伐

目下其準備行動中

西伯利沿海州に於ける過激派の我が出征歩兵第九聯隊守備隊を襲撃するもの頻々にて各地不穩の形勢あるより聯隊本部にては近々大討伐を行ふ可く決し目下其の準備行動を執り居る由或る信ず可き方面に通信ありたり

豫防接種

お勸め仕度い 命取りの腸窒扶斯

龍山衞戍病院長 高澤軍醫正談

京城龍山間に昨今腸胃の疾患が漸増の兆あるのみならず腸窒扶斯等の惡疫が漸次流行の傾きがあるので二十二日朝龍山衞戍病院に高澤二等軍醫正を訪ね軍隊の衛生狀態を聞く高澤院長語りて曰く『腸窒扶斯に付き軍隊では過去の

▽苦き經驗 から初年兵が入營するなり間も無く腸窒扶斯とパラチフスの混合豫防接種を勵行してゐる昔は軍隊には腸窒扶斯が猖獗を極め腸窒扶斯と云へば生命取りの病氣と戰慄したものであるが此の豫防接種が勵行されて以來腸窒扶斯パラチフス等は全く後を斷つた素人は豫防注射を何ぞなく恐ろしがるが決して危險なものでは無い

▽最初發熱 することは するが大抵三十七八度で若干倦怠を覺わる許りである中には三十九度位の熱を出すものもあるが百人に一人位の割合である曾て自分の前任地でも腸窒扶斯が猛烈な勢ひを以て猖獗を極めた時も此の豫防接種を勵行してからと云ふもの漸次終熄してしまつた朝鮮人や支那人には

▽帶菌者が 多いから腸窒扶斯流行の際には餘程細心の注意を拂はなければ危險である此の際災害を未然に防ぎたい人は一日も早く最寄りの醫師から豫防注射を受けるが良い軍隊には目下僅に一名の疑似患者が發生した許りである』云々

女子師範の一異彩

健氣な朝鮮の女教員 『内地兒童は活潑です』と語る

此二三日前まで東京府立女子師範の附屬小學校の教生として生徒の賞讃教育をやつて居た其中に異彩を放つてゐたのは朝鮮京城生れの任敎窒孃である、彼女は今年二十七この七月女子師範學校の

二部を卒業 してお國の京城へ歸るといふ、國には年老いた兩親が彼女の歸國を千秋の思ひで待つてゐる、彼女は大正三年京城淑明女學校を卒業後忠淸南道公州の公立普通學校で一年と三年の生徒を敎へて居たが現行の敎授法を慊らなく思つた彼女は唯一人淋しい旅を續けて府立女子師範の二部生となつた、それは

去年の秋の 事である、そして本年の四月から去る十四日迄附屬小學の敎生となり第四學級――尋常科二年を受持ち親しく内地の生徒に接してゐたが生徒が朝鮮の生れとは思はなかつた程國語に巧であつた、彼女は愼ましやかに『朝鮮の敎授法は此方と違つて凡ての事を分解研究するといふ事がありません、從つて生徒の頭にも了解出來るまで泌込みませんこれは

非常に殘念 だと思ひます、此方へ來たお庇で種々な知識が得ましたから歸鮮した上は十分敎授法を改良して子女の敎育に努めたいと思つてゐます朝鮮の生徒に比べて此方の生徒は活潑で理解力があるやうです』と語つた(東京)

殺人技師山田の妻は如何に生くべき

宿した子の敎育に一身を捧げしめよ

殺人技師山田憲の妻つぎ子が今後如何に世に處すべきかに就て某敎育家は語る『私はつぎ子夫人が姙娠してゐるからは單に夫人一人の問題として論ずべきでないと思ふには何うしても山田技師の生立から專門的見地から正當な批判を下すと共性格を詳細に調査し

▽夫人の性格 なども充分知つた上でないと云へない併し總て犯罪の動機は複雜だが多く已丈けを考へ他を顧みない所から生れる元來犯罪的遺傳性は人類と共に斯かる劣性は漸次薄弱になつて來てゐる、だが此の

▽犯罪的劣性 は薄らいだ乍らに遺傳し或人間に依て突破する、故につぎ子夫人が宿してゐる山田技師の子は近來稀有の慘酷な大犯罪を敢てした父の惡い方面の劣性を受けてゐないとは云へない、併し人の命は尊い物で此劣性の方面のみで無く山田技師が一面に於て

▽入學を優等 で卒へ農商務省に重用されるに至る丈の秀いでた素質も享けてゐるから此恐るべき犯罪者の子供も今後の境遇如何に依り善くも惡くもなるのだから優良の素質が力限り伸んで劣性の萌芽を世に出さない樣にせねばならぬ世間は此

▽可憐な夫人 を許すと共に社會的に同情を以て聽て生れ出づる幼い人の命の保護をさせなければならぬ、此見地から云ふと夫人が尼になるのも考へ物で寧ろ苦痛と戰つても第二世山田の遺傳的劣性を刈り遺傳的優性を哺んだ方が夫人として光明を將來に認めて世に送る事が出來ると思ふ』

岩村檢事引揚ぐ

證據品山の如し

山田憲の鈴辨殺し事件に就き神戸に出張中なりし東京地方裁判所檢事岩村通世氏は同地に於る犯罪關係の證據調査を了し廿一日午後零時十五分發列車にて歸京直ちに太田黑檢事正に諸般の報告を爲したるが岩村檢事は同地にて得たる大行李一個大風呂敷一個の證據物件を携へ歸りたり(東京特電)

波蘭俘虜の從軍志願

廿五名現る

在日本波蘭俘虜中西伯利なる同國軍に從軍を志願する者二十五名あり右は廿二日正午敦賀にて波蘭代表者に引渡さる可し(東京特電)

あやめ會試演

京城の義太夫大阪鼓連有志は斯道奬勵の爲め今回あやめ會を組織しその發會式を兼ね試演會を來る廿五日夜南京城町に於て開催する由京城に始めての催しなれば可成氣顯盛なるが出演者は團助、玉七、吉、三福、愛吉、清六、玉次、鶴八、君の助等なりと

樂燕を聽く

磨き上げられた眞の藝術

黄金館に出演東京樂燕の初日を聽く語物は一番目乃木將軍と孝子辻占貢、二番目義士外傳堀川與惣兵衛の二席であつたが新舊の語物何れも聽者の肺腑に泌み渡るほど熟さと巧さとを持つて居た、一體に今の浪花節は上つ調子で下品で共樂の律調を無視したものが多いがこれは誰しも認め得るのであるが是等の缺點を補つて尤も藝術的に語り得るものは東家樂燕であらう彼は初代雲の如く氣取らず、奈良丸の如く上つ調子に流れず、小圓の如く技巧を用ひずして良く聽者を擒縦し得る魅力を持つて居る、一言にして敬へば彼の技巧は恰も磨かれた珠のやうに磨き上げられて居る、

運動界

力士軍を迎へる 鐵道軍の意氣

東京力士野球團と云ふ大敵を迎ふべき鐵道野球團は每日猛烈な練習を續けてゐる釜山軍の新鋭を以つてすら五對五と云ふスコーアであつたから此大敵を迎撃する爲めに精鋭な鐵道軍も隨分頭を惱ましてゐるらしい同軍の吉永監督は語る『力士團に對する作戰なんて別にありません恰度網干君が徴兵檢查の爲め留守になりますが政法で鳴らした林田君を新らしく投手に迎へて堂々と戰ひます林田投手の腕前は東京では四大學中の覇者と云ふ程ではありませんでしたが恐らく朝鮮では指折りでせう冴へた新投手の腕前と堅い全鐵道軍の陣容で戰つたらクロースゲームを見られるでせう林田投手は廿三日に着聞する豫定ですから若し廿五日に乘込んで來るとすれば遠來の勞を休める暇もない譯です』

選手の消息

朝鮮銀行野球部の谷村選手は急遽長春支店に轉任を命ぜられ廿二日朝南大門發奉天急行で北上す▲京城倶樂部野村君は近く總督府を辭し三井物産京城支店に入る由なるも倶樂部選手として舊の通りなりと

◎對馬洋歡迎會 來る廿八日花月に於て對馬人會を兼ね近く入城する同島出身東京力士對馬洋の歡迎會を催す由

米は上る酒は上る醬油は上る味噌は上る砂糖は上る野菜は上る飲料は上る湯錢は上る下駄は上る家賃は上る▲何官の手間代は上る家賃は上る此節依然として上らないのは郵便切手にお坊さんの御布施位お坊さん珠數つまぐつて曰く『是ぢやとても浮ばりません南無阿彌陀佛』▲南無阿彌陀佛で思ひ出したが龍山の漢江人道橋から投身して土左右衛門になりたがる連中はいつも必ず同じ場所を擇ぶから妙だ▲橋の番人曰く『實際不思議ですぜ投身と云や同じ場所で飛び込む處は一尺と違つてやせん大方死神がお出でゝくするんでせう』

毎週ポンチ

蠅退治 助太郎

◇惡戯も過ぎて足を怪我した西光寺が出られないので二三日は柔順しく部屋の中に寢て居たがごろ〳〵蠅が多くて堪らない、足に止る小さへ出來ぬ一つ退治してやらうかぎに億劫な勞をせずに蠅退治する方法はないものかと考へた◇團扇で追拂つても暫くすると又戻つて來る、蠅叩きで叩いても二三疋は殺せるが大部分は天井に舞上つて止まつてゐる◇なるほど天井を見ると居るわ居るわまるで黑胡麻を蒔いた樣に止まつてゐる、喜んだのは西光、得意の弓の技倆を示すのは此時だと、早速小さい弓を造り針を挿込んだ矢を造つて天井の蠅を目當に射てみた◇狙ひは過はず蠅がコロリと落ちたので勢を得た西坊矢繼ぎ早に矢をはなつたので流石の蠅軍も閉口して殘余の奴は何處ともなく逃げて終つた西坊足の痛さも忘れて萬々歳

甘い香に浸つて『花の日』の賑ひ

南米倉町京城組合敎會では廿二日午前九時から『花の日』祝會を催した刻に二百[illegible]信徒達が敎會堂に溢れてゐた聖壇は[illegible]花の香が[illegible]つてゐて今日の平和な花の日の集まで[illegible]美歌祈禱說敎で第一部が終り第二部に入ると愛らしい少年少女の唱歌で大賑ひ殊に日曜學校一二年女生の唱歌『今こそ春』を唱ふてゐる處之が終つて唱歌やお話があり一同大喜びで家路に就いたのは正午少し前であつた。

井上 お傳印 天狗印 久留米絣 久留めさま 御申越次第見本進呈 久留米市通町 國武合名會社

演藝案内

大正館 電話八七三 ... 大興行入場料普通 眞珠 全二卷 ... 七 ... 喜樂館 特別映畫提供 ◎米國パラマウント會社特作名劇 ◎ニコ〳〵劇デブ君の化の皮 貳卷 ◎大活劇『名彈』全五卷 原名ウイリヤム・ダンカン氏出演名射手ベーカーン ◎新劇『松平外記』全六卷

京城本町 電話五七八 壽座 ◎喜劇新築に付愈々最終大興行 男女優大一座 六月廿一日午後六時開演(十日間)

▲サンクユー 三場 ▲風流和尚 二場 ▲勘定日 三場 ▲喜劇花筏 一場 サツポロビール會社大々的後援

黄金館 電話(夜間)二三二六 大絵色活動寫眞會社京城釜山二手代理店 ▼六月廿一日より六日間限り開演▼ 浪花節界の司佛 東家樂燕 天下に定評あり ▲木村重成勘忍袋 ▲伊達燕三評定 ▲安中艸三郎 ▲柳生旅日記 ▲馬眼の黄門 ▲水戸大 ▲乃木將軍と孝子辻占貢 ▲義士外傳堀川與惣兵衛 燕福 燕六 燕篠 燕大夫 燕笑 三燕 若燕 ◎入場料特等一圓四十錢 一等一圓廿錢 二等七十錢 三等四十錢 軍人學生半額

競賣期日公告

京城地方法院 左記不動産ニ付左記日時ニ於テ競賣ス

一京城府花園町百五番地ノ一 一垈參拾壹坪 最低競賣價額金五百八拾圓也 右地上ニ建設 一木造瓦葺平家建本家壹棟 此建坪拾五坪九合八勺九才 附屬建物木造草葺平家建壹棟 此建坪貳坪六合 最低競賣價額金百七拾圓也 申立人 朝鮮實業株式會社 所有者 津野仕

一京城府平洞八拾五番地ノ一 一垈參百五坪 最低競賣價額金壹千貳百貳拾圓也 申立人 長尾庄三郎 所有者 國井京

一高陽郡崇仁面路十里貳壹九番地 一垈壹百八坪 最低競賣價額金五拾四圓也 右地上ニ建設 一木造草葺平家建本家壹棟 此建坪九坪六合六勺 附屬木造草葺平家建壹棟 此建坪拾九勺 最低競賣價額金九拾八圓也 申立人 [illegible] 所有者 [illegible]

一高陽郡龍江面東幕下里一七七番地 一垈百拾四坪 最低競賣價額金六拾貳圓七拾錢 申立人 高建植 所有者 [illegible]

一高陽郡漢芝面西氷庫里百五十七番地 一地田九拾貳坪 最低競賣價額金五拾圓六拾錢 一同所百九十六番地 一垈百貳拾六坪 最低競賣價額金六拾參圓也 右地上ニ建設 一木造瓦葺平家建本家壹棟 此建坪拾貳坪六合六勺五才 附屬木造瓦葺平家建壹棟 此建坪七坪八合壹勺 附屬木造瓦葺平家建壹棟 此建坪參坪參合 最低競賣價額金四百貳拾五圓也 申立人 [illegible]長次郎 所有者 李元根

一京城府鍾路五丁目四百貳番地 一垈四拾壹坪 最低競賣價額金四百拾圓也 右地上ニ建設 一木造草葺平家建本家壹棟 此建坪七坪五合八勺 最低競賣價額金百九拾圓也 申立人 [illegible] 所有者 [illegible]

一京城府鍾路六丁目三百十六番地 一垈貳拾壹坪 最低競賣價額金壹百五圓也 右地上ニ建設 一木造草葺平家建本家壹棟 此建坪拾壹坪九合九勺 附屬木造草葺平家建壹棟 此建坪貳坪四合 最低競賣價額金七拾貳圓也 申立人 吉村榮左衛門 所有者 韓慶俊

一高陽郡纛島面東纛島里七六九番地 一垈壹百五拾壹坪 最低競賣價額金參拾參圓拾五錢 右地上ニ建設 一木造草葺平家建本家壹棟 此建坪九坪五合五勺 最低競賣價額金六拾四圓七拾五錢 申立人 [illegible] 所有者 [illegible]

一京城府堅志洞貳拾壹番地 一垈五拾坪 最低競賣價額金四百七拾七圓也 申立人 李炳斗 所有者 金裕弘

一高陽郡龍江面下水溢里六十七番地 一田五拾五坪 最低競賣價額金拾九圓貳拾五錢 一同所百四十八番地 一田參百四十七坪 最低競賣價額金百四圓也 申立人 [illegible] 所有者 [illegible]

一京城府中學洞六拾貳番地 一垈貳拾壹坪 最低競賣價額金參百九拾圓也 右地上ニ建設 一木造草葺平家建本家壹棟 申立人 西川健次郎 所有者 尹百榮

以上競賣期日 大正八年六月二十五日午前十時トス

商標 (最上清酢)(植山本家) 三矢酢造場 三矢酢特色 ◎三矢酢は夏季に至るも絶對變味せざること ◎三矢酢は朝鮮釀造品評會に出品して優良賞を受與せられたる唯一品なり ◎釀造場を擴張し一般の御注文に應じ可申候 京城本町四丁目電話三〇七五番

はらにカタマリが 出來ヘソの下痛み濃血を下し又は子宮がんにて御心痛の人手術せずクスリで返信料添申込有料詳細報す 播州明石裁判所西 ◎湧泉堂

ルイレキ 奇藥發見 難病者心配無用切らず治る可し効藥發見他藥に迷はず返信料添申込あれ新藥療法詳報 大阪上福島中四丁目 藥劑師 富吉榮作

◎慰勞會（釜山）全鮮穀物貿易[illegible]招待し九九九日東萊明月支店に於て[illegible]

◎連絡船上陸客 廿二日朝入港の連絡船上陸客 [illegible] ふく子、湯正子、豊田鶴四、白男川つ、留名老造、水野光造、上、楽輔、加藤滞五郎、石本太郎、安田留、大西けん、[illegible]

京城 大阪 普通料金四十錢 一割引料金廿五錢

京城地方 天氣 曇一時晴 ▼京城氣溫 [illegible]

……大阪新報、朝鮮……鈴木各支店出張所及び……商會の……十艦にて今回聯合大會に出席せる委員一同並に重なる釜山の官民をは風波激しかりし爲め棧橋に繫留廿二日拂曉四時漸く風凪ぎしを以て下關に向け拔錨したり(釜山特電)

……名二等(六十五名)島田利吉、辻川……富吉、野村ひさ、齋藤文吉、渡邊……內元治、中澤利助、寶京松太郎……卯之松、同きん、同かず、同京一、增田……宮崎嘉作、毛利民三郎、宮崎ます……

第一版

滿洲遠邇

(五二) 刺身と石炭　一貫生

四月の長春には未だ氷があつた、露西亞の遺物で午餐を食つた味も抑々乙であつた、ならう事なら彼れを少々分捕て來て下戶黨の同士に分配したかつたがまさか其うも出來なかつた夕方浦君の案內で一旗亭で夕飯を取つた座に京城に居たと云ふ女が二人あつた此の邊に來れば矢つ張り綺麗に見ゆるから御可笑いと云つたら二人共怒つた而し拙者の目にて其う見ゆたから致方がない美醜は人の見樣によつて異なる處がある拙者が見て綺麗でなくても他の人は綺麗なと云ふかも知れぬ拙者は綺麗なと云ふのだから立腹する筋ではなからう滿洲の北の端、日本の勢力圈の境目の長春の酒の味も肴も何の違つた事はない處が刺身は依然として朝鮮からの送つた魚類である長春と云はず滿洲各地の刺身は皆朝鮮からの供給を仰いで居る滿洲から石炭を呉れぬと云へば朝鮮からは魚類輸出の禁止をやれば好い何に刺身はなくても不自由はないとだふかも知れぬが誰れも膳の上に刺身の一片をも殘さぬのではないか之は實際朝鮮の賜ですと舌鼓を打つて居るのではないか米をやらぬと云へば外聞が惡いから魚類を內地へ多く積み出すが好い實は滿洲に送る魚類が拂底では無い袖は振られぬ石炭の穢が此方は魚類がなけれたら何うだらう何に魚類がなければ野菜もある肉類もあると滿洲の邦人の需要を滿たす丈けの供給があれば結構だ底願の聯絡も副食物の缺乏が大分原因をして居ると云ふ事は御存じであらう兎に角喧嘩をする程愚劣な事はない結局は朝鮮では凍る滿洲ではペチカの側で破丈け食つて呆然して何うも能率漸退では困ると頭を捻つた處で致方がない姿勢は當世、現代だ早い程好い昔は急げだと漸進君が乘り移つた樣な事を云ふ刺身黨の一人もあつた、翌日は早朝から雨降つた馬車を呼んで乘ると之れは大層な勢でも雨から被せられたから濡らぬ拙者迄を處納豆同樣に考へたと見え幾等長春でも人間を野獸並に扱ふ段は閉口だ歩かうにも

大連近事　豆粕競賣制度問題　受渡問題

◇競賣　豆粕の競賣買制度問題は取引所當局に其必要を認め過般取引人組合に對し諮問せるが取引人組合側にては豆粕は生產に制限あり且つ製油業者にして取引人たるもの多數あるを以て斯業者は二重の證據金を要する等決して輕き負擔にあらずして、競賣制は却つて市場を惡化せしむる恐れあり、又競賣制は大資本家の思惑を助長さすの缺陷あり尤も近時の豆粕取引は宛然競賣買に類せる如き實情にあるは取引人自らも認めつゝあるが取引上の紛爭を生じたる場合之を未然に防止し得るは一に相對賣買制に依るを便とし競賣買制に在ては勢ひ信託會社を相手取り問題を擴大ならしむるの已むなきは見易き事實なるを以て一般取引人は該制には反對の意嚮にあり取引人各個に於ても現在の思惑買的色彩を芟除すべく相戒め組合の自治に訴ふるの手段を執らも相對取引を欲し當局の諮問に對しては其變更理由を質し然る後態度を決せんとするもの、如し

◇受渡　大連取引所六月限豆粕受渡問題は過般臼井洋行對德昌の交涉にて解決せんとせしが受渡期日たる十五日に至り賣方天運長の臼井に對する受渡不能なる事發見され端なくも紛爭を惹起せんとせり、そは六月限豆粕受渡難に就いて當局に於いても夙に認め絕えず注意する處あり危險と認めし德昌、天運長、其他二三支那側賣方を招致し注意を與へし際德昌を除く外は何れも懸念少きを以て無事終了すべしとせるに、天運長は文、裕の依賴に依りて賣主の處分に窮し期間中に買戾を爲せる玉に差損金を信託會社に納入するを得ざるに至り遂に相手方たる臼井洋行に其處分方を交涉したるものなるが此の交涉にして不調に終らんか一大紛擾を惹起すべかりしも當局等の斡旋に依り臼井洋行は天運長の損金たる銀六萬八千圓を融通することを諾し漸く十七日に至り解決を告ぐるを得たり

◎張督軍と孟督軍　兩氏の間に於ける最近の確執

今回端なくも暗殺說を流布されたる張奉天督軍の身邊に關して孟吉林督軍とは犬猿も啻ならざる間柄なるが是より先き暗殺說の傳はらざりし前に渡したる奉天支那側通信に左の如き情報あり

奉天督軍張作霖氏が東三省に於ける文武の兩權を把り名實共に巡閲使たらんとする希望は既に久しき以前よりの事なるが殊に多年の宿望たる巡閲使の位置を得たさも幷は同氏が日頃より希望せし其れとは內容權限に於て大差あるを以て內心平かならざれど

機を見るに敏なる

張氏は色にも現さず所期の目的貫徹に對して着々隱密の間に手段を逞らしつゝありしが近來吉林省督軍孟恩遠氏に對して壓迫を加へ初めたれるが由來張孟兩督軍の間は犬猿も啻ならず殊に數年前より張氏は遙かに北方の鮑貴卿黑龍江省督軍と提携し國城の關係を作り以て兩者の間に介在せし

孟督軍を壓迫する

の計を立て以來手を換へ品を變へて此方針を一日も緩うせざりしが昨年蒙匪所々に猖獗を極め東三省巡閲使の重大任務を帶べる張氏は匪が跋扈討伐の任に當らざるべからず故に部下軍隊を北方に派し且つ黑吉兩省內、巡閲支署を設立し

東三省軍權の統一

を期すべく既に着々その準備を整へ居たる折柄偶十餘年に及びて

紊亂に紊亂せる

吉林省財政の窮乏漸く暴露したるより是れ亦張氏の乘ずべき好機會となりこなし省議會其他の孟督軍排斥の勢を強めこの內外相呼應して排斥の勢を強め加ふるに兩省邊境の兵備漸く嚴重を加へ來れり是が爲孟督軍は急の次第に身邊に迫れるを覺悟し時に

手兵五千生死を

共にするあり迄職を請して自ら張氏は老齡の爲に六十に餘り又張氏の如く急なる怨に時にすれぞ斯の如く憫れたる民國六年の其の如く獨立を宣言して中央政府を威嚇せんとする形勢を示し將た又時に責を負うて

辭表を提出する等

兎角隱かならず殊に最近某方面に到着せる情報によれば孟氏は何處までも張氏の下風に立つを快しとせず萬一張氏にして吉林省城に臨まんか孟氏は其の以前に於て全省を擧げて某國に委せんと聲明せりとも傳へらる兎に角兩者の關係が刻々危險性を帶び來れるは事實なり(奉天)

◎馬賊に捕はれたる人の話　此世からの生地獄(續)

晝は牛馬の如き勞役…夜は蟲類の責苦　而かも緊く縛められたる儘にて

……遭難歸還者長春豐材公司員橋垣信郞氏談……

其夜は賊が廣い爲め嚴重なる縛めのまゝとは云ひ乍ら彼等と共に歩きの上に寢かされたので幾分樂であつた、翌日も相變らず六十支里位山中を歩いたが頭目は豐材公司から金品を取るのは日數を要する上危險であるから那兒溝事業地の把頭より提出させようと思ふ、勿論本年は降雨が尠く且つ溫暖であつた爲め運材に支障を來して居る事を知つて居るから原產地殘材を擔保として契約して時機を見計らつて徵發する事にするから把頭宛に無

馬賊の爲めに　非常に虐待されて

居るから煙草二ボールを持つて把頭四五名至急救助に來て呉れよとの手紙を認めよと命令し若し把頭等が來たなれば協議の上お前等を解放するのみならず他の頭目にも旨を通じて保護を與へるとの事に

手紙を認る事とし

たが折頃把頭等は流筏準備物品の購入と諸用事の爲め濛江、樺子甸、朝陽鎭方面へ行つて居る者が多いので先づ其れより調べる必要があるから出發は翌日二十の

馬賊が偵察に出掛

たが歸つて來ての報告には總把頭の徐精築と云ふのが事業上の要務を帶び吉林の豐材公司に行くので把頭全部を招集して打合せする爲濛江に向ひ五六日せねば那兒溝には歸らないとの事に手紙を出す事は一時見合せ其日は激發して來た飯釜、茶碗、鍋、斧、其に粟大豆等を

我々四名で背負ひ

七十支里程進んだ山中の空小家に入り屋根を修繕などして烘の無い土間に松葉を敷き此處で二三日滯在する事となり彼等は二三名にて偵察に出かけ我々は毎日例の如く拾ひやら副食物にする草の葉を採取し或は彼等の用事を達してるたのであつた

兵士の服裝のまゝ

(未完)

蠶況

慶南各地の好景氣

本年絲相場騰昂の折柄釜山方面の產繭地たる東萊、機張、梁山、金海に於る春蠶成績は極めて良好にして立直の如きも昨年に比し一割五分方の騰昇を見上物十二圓五十錢乃至十三圓を呼び屑物にても八圓五十錢乃至九圓五十錢の相場を示し居り注文筋は續々買集めに苦心せる模樣なるが上物は一般に品薄の觀あり屑物は潤澤なるも買手側は概して上物の買集めに熱心なるが如し(釜山)

鳥致院の繭と桑　忠南

燕岐郡鳥致院の繭は大凡豫想通り收穫の見込にして春蠶四百石を得べく六月十八日第三回共同販賣をなせるが其價格は一等十二圓五十八錢二等十一圓四十八錢三等十一圓二錢四等八圓二十三錢なりし又例年掃立に比例し桑葉不足し當青期に至り止むなく良好なる蠶兒を棄つる者さへありしが漸時農家も桑園の必要を感じ桑の植付と共に本に幸し桑葉の過不足きに至れり因に桑價一貫卅錢前後(鳥致院)

全北沃溝の走相場

全北沃溝郡產繭第一回入札は特等千二百圓にて群山株式會社へ一等千五十四圓、二等千十圓、三等九百八十五圓、四等九百八十圓にて[illegible]田端二郎氏に落札したり(群山)

光州と松汀里の繭

全南光州蠶繭組合の第一回繭共同販賣は四百三十三石餘にして競賣入札の結果一等品百十八圓にて落札したるが更に松汀里に於ては上繭百廿圓にて賣買されたり(光州)

農信

挿秧　鳥致院

‖(忠淸南道)‖

今年の梅雨は近年珍らしく打續き農家は喜悅し目下田植に忙しく鳥致院附近は連日の降雨にて用水は大體に於て潤澤なり然るに苗代の播種期に於て旱魃の爲播種期遲れ苗の發育充分ならず一般的に苗の不足の感あるもコハ別に顧慮するに足らず植付けは去る五月廿九日に始まり六月末頃迄に九分通り終るべく本年も相當の豐作の見込也

麥の出來榮(原州江原道)

江原道原州郡に於ては初冬より本春に至る寒氣は著るしからざりし爲め麥類の凍害を蒙りたるものなく暖氣を加ふると共に順調なる發育を遂げ抽穗後の今日何れも歩一し近年稀に見るの上出來にして向後天候順調ならば前年に比し郡內を通じ平均大麥二割小麥二割五分の增收見込なるが大麥收穫見込高二萬四千百七十七石小麥收穫見込高八千三百九十石なりと(春川)

◎驛の新式洗面所(大田)

大田驛構內北行プラットホームに新設の洗面所は過般來より工事中なりしが此程竣工したり其構造は水槽二個の中間に暖爐に似たる大釜を据へ冬季は常に湯を沸かし得るものにして一時に二十人以上洗面する事を得べしと而して之れが工費は一千五百餘圓なりと云ふ

◎朝紡の敷地　買收愈內地行

釜山商業會議所に於て專ら其の任に當り買收交涉中なる朝鮮紡織會社敷地は目下順調に交涉の進展を見既に要求面積七萬五千坪の約半數は豫定通りの價格にて快諾を得たるが殘餘三萬五千坪に對する十二名の所有者は目下內地に居住し居る事とて文書其他傳手を求めて交涉を重ねつゝあるも何分遠隔地の事とて直面の交涉には容易に捗々しからざる故に釜山商業會議所に於て協議會を開きたる結果買收交涉委員として堤氏及び中野事務員、明成會より小倉勝三郎氏を大阪、愛知、岐阜、岡山、山口、廣島等の所有者現住地に派遣し相互に圓滿なる解決を試みんとするものなるが委員は去廿日出發す(釜山)

日本名刀傳　八十四

東京　田邊南龍講演

五郎正宗(十)

藤兵衞は何とも言へぬ感に打たれ涙は頻に傳はり『嗚呼感心なものだ五郎さんの體にさはるといけないから止めようか』とは考へたがいや『イヤさうでない人の信心の邪魔をしては好くない』と知れないやうに、そつと戶を締て、元の部屋に歸つて來ました、弟子どもは、彼方でも此方でもグー〳〵高鼾、小僧は鼻から大きな提灯を出して白川夜船、藤兵衞は枕元に胡座を組んで腕組をして考へた『皆な五郎さんの氣も知らないでよく睡て居やがる』と、槃固を睨めて、寢て居る弟子の頭をポカ〳〵端か

ら引摑いた　甲『オイ痛ゑ何つて毆ちやがつた、勘辨出來ないぞ、誰だ？誰だ』藤『起ろ、手前たちは能く睡て居られたものだ』乙『あ、痛ゑ』丙『あ、痛ゑ』丁『ヤア、兄弟子ぢやアねわか、何だつて亂暴なことをするんだ、好い心持に睡て居るところを、どうして毆つたんだ？』藤『睡て居る奴があるか』甲『睡て居る奴があるかつて、夜中に睡て居るのは當り前だ、晝間睡て居るちやアあるめわし、お前氣が違つたのか』藤『氣が違つたんぢやねわや、默つておれと一緒に來て見ろ』行『……マア默つて來い』丙『變だナア』一同ぞろ〳〵臺所へ廻つて來た、戶を開けて　藤『戶外を見ろ』まだ五郎は水垢離を取つて一心不亂に念じて居る　藤『あの醍い內儀の病氣の癒るやうに自分の命を縮めて八幡樣に御願懸けだ、雪の中で水を浴びる、これぢやア眠て居ちやア濟むめい』乙『ンウ、これア驚いた』皆な元の部屋に歸つて床の中に這入つたが、さすが藤兵衞初め弟子たちは終夜眠られませんでした、翌朝早く起上り、朝飯を食して弟子一同が藤兵衞を先に、お秋の病間に來て　藤『御氣分はどうでございます』秋『ウーン…ウーン…頭が痛い、……苦しい……』行『御大事になさい』お秋は眼凹み頬が憔け、痢が激ると見えて背は切り上り、手先を探はして居る、森川への義理、行光への義理で、見舞の菓子は山のやうに積上げてある　藤『さて御新造さんもう直御癒りになりますとこがありますよ、確かりなさい』秋『藤兵衞や皆の前だけれど……今度は妾助からないよ……迚もだめだよ』藤『エ、そんなことはありません、病は氣のものですから、確かり氣をお持ちなすつて早く御癒りなすつて下さい、なァ皆な』乙『癒るものなら御癒りなさるぞ……』藤『オイ默つてろ、縁起の惡い』……私が今申上げた乾度御癒りなさると云ふ譯は、昨夜夜半に眼が覺めて、咽喉が乾いたから臺所に水を飮みに行きました、すると外で音がします、何だらうと見たら御新造樣、私は感心して泣きました、裏の井戶で五郎さんが裸體で水を浴びてるぢやアありませんか、お母さんの病氣を癒して下さいと八幡樣に一生懸命に御祈りを上げて居ました、私の命は差上げますから癒して下さいと云ふのです、私はもう〳〵睡られませんでした、ここに居る行平も藤吉も安さんも富も知つて居ます、他の者も皆知つて居ます』なアお前も見たなア○『皆な見ました、思はず私たちも泣いて仕舞つたんです』秋『何だつて……五郎が妾の病氣を癒すために裏の井戶で水を浴びて……祈つて居たと云ふのかい』藤『へい』秋『さうかい』甲『へい』秋『妾は知らなかつた……五郎を呼んでお呉れ』藤『へい……五郎さんや、五郎さんや、御新造さんが呼んでますよ、惡い事ぢやアないから早く御いでなさい、……今日から御母さんがお前さんを柔しくして呉れますよ』五『ハイ……』

◎海洋島　日本巡查が一人

駐在し島司の如く尊敬さる　異なりたる島民の生活狀態

關東廳長官　林權助男談

海洋島を視察した林長官の談に曰く『海上は非常に靜穩であつた艦は驅逐艦の一隊で四隻であつたが安東へ入港したのは二隻丈けであつた、それでも十六浬の速力を出した時は一寸困つたものもあつた樣子であつた』と一寸隨行の方へ瞳を轉じて微笑して『途中例の淮洋島や長山列島へ立寄つて見た、島には耕地は殆どなく多くは漁や船乘稼業の者許りらしいが甚だ

生活狀態は裕福

な樣子で家などにも白壁をつけて居るものが多い、此の附近の名物の海賊は時々民家を襲ふ事があるとの事であるが之れには隨分困らされるさうである、島には日本の巡查が一名位宛駐在してゐるが夫が恰も島司の如く尊敬されてゐるのは如何にも氣持がよく又可憐である

島民は一般に順朴

で一行が上陸した時でも軍艦を珍らしがつたり一行の者が異樣に見えたりはしなかつたと見えて大人も子供も顧みもせず悠々と稼業に就てるた有樣は眞に太古の民と云はうか紳士的態度と云はうか實に

氣持の好い感じ

を與へた、學校も見たが建物なども立派なもので例の老先生が生徒に讀書を敎へてゐた、其師弟の間柄も圓滿で恰も明治以前の日本の寺子屋でもあらうかと思はれた此學校も曾て都督府から多少補助をやつて建築も立派にしてやつたものもある島に上がつた時

鯨が二頭獲れた

のを例の捕鯨船が持ち歸り機械の力で解體場へ引揚げ瞬く間に解體して仕舞つた、十五間もある大きな鯨を僅かに一時間そこ〳〵で片付けるのだから其の敏速さと云つたらない位であつた(奉天)

◎江華島通信

▲小作人表彰式　江華郡出全面に亘り二百七十町餘歩の土地を有する京城財團法人進明女學校江華出張所に於て十八日午後四時より出張所構內に於て小作人九百餘名中優良小作人卅六名に對し表彰式を擧行せり先づ財團法人進明女學校高野理事小杉彥治氏小作人に對する耕作の方法生產力の涵養及び將來の希望を述べ李郡守の地主と小作人との關係並に國家的事業なる事を說き多大の感動を與へ同六時閉會せり因に當日受賞者左の如し

(一等)三名黃權周外二名　賞品ショベル、農業報、移植鏝、(二等)八名金益李外七名　ショベル、農業報(三等)十二名金性玄外十一名　ショベル(四等)十三名崔德順外十二名　鍬、移植鏝

當日來賓は郡守並に兩主任警察署々長各官公所員其他十數名にして式後旗亭西村に於て盛宴を執り主客天分の歡を盡して午後十時散會せり

▲武術の獎勵　野田江華島警察署長は武術獎勵の目的を以て每日午後二時より署構內に於て非番巡查を招集し擊劍を開始せり署長指導の任に當りて退廳後は全員の外各官公所員の申込多數にして郡廳前に見たるが此の擧を賛して郡廳員も毎日掛を爲し頃日著しく各員の上達を見勞ましく練磨に努めつゝあり

六月二十四日

(舊)五月二十七日　火曜日　ひのえさる　二黑　劍鋒西南▲先勝▲尾▲除く

▼二黑▲石橋を叩いて渡るべき日
▼三碧▲溫和なしく出るに限る日
▼四綠▲兎角前後の揃はぬ日なり
▼五黃▲吉運にて利益ある日なれど口と財布は成可く閉つ可き日也
▼六白▲福運の來る日にして何事にても思ひ立しことは行うて吉也
▼七赤▲心正しければ目上の引立に遇ひて好機會を造ることある日
▼八白▲利益ある日にて何事にもれど調子に乘つて妄進するは不可
▼九紫▲氣の清々する心よき日な吉、共同事業には殊に好き日なり
▼一白▲餘り感服ならぬ日なり

たしかに……利益のある　米國式吳服や

コレカラ獨立する青年諸君の本業として農家商家、官吏、老人の副業としてコレ程確で安全に儲かる商賣は外にない米國最新式販賣法たるチェンストア組織に依つて營業する時は僅五十圓の資本で月收六十圓位は確實である、詳しく內容を知らんとする人は東京麴町區飯田町關東織物通商合資會社發行の『吳服屋開業法』を見よ…(一冊九十錢外に送料を要す)本書を一讀すれば其日から此有利な商賣が出來る現に此商賣で成功して居る人が全國に二千人以上ある特約規定だけ入用の御方は郵券二錢封入東京九段久保吳服店地方御部宛にて要求せよ……

人參エキス

陸軍御用　各支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候　爲一層御便利御注文の節は本店へ御願上候

朝鮮京城本町　津村兄弟商會　電話一四八〇番　一八七〇番　振替京城三五一一番　電略(ツ)又は(ツム)

眼科專門　入院隨意

京城明治町東拓横(電話二〇四四番)　江頭眼科醫院　日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

大正館

日本三大騷動　黑田騷動　栗山大膳　全六卷
入場料　壹等四十錢　貳等三十錢　三等二十錢
尾上松之助中村扇太郎一派
野村雅廷、牧野翠邸、竹本國夫說明
大冒險大活劇　七眞珠　一篇二篇　五卷上塲
『鐵の爪』以上の大好評！　連日連夜滿員御禮
鐵の爪の姉妹篇世界的連續大寫眞

第一衞生的　價格低廉　堅牢無比
最新流行　ひさうき髷形
京城府漢江通十三番地　藤野商店
市內小間物店又は直接御注文あれ

神經衰弱生殖器病患者に急告
恐るべき手淫の害毒の爲に人生最大の幸福を失ひ發育不完全、早漏、夢精、陰萎、ヒステリー等に苦しむ方は至急本院に申込まるれば生殖器病專門陽春堂病院長が多年苦心研究の結果發見せられたる專門藥ノイラの說明書郵送す
ノイラの神秘的なる藥效は既に社會一般の知る處なり前述の容體にて苦惱せらるゝ方は至急本劑を服用して再生を期せらるべし詳細は說明書にあり
◎藥價　十四日分三圓五十錢　一ヶ月分七圓　二ヶ月分十三圓　三ヶ月分十九圓　送料卅錢
東京神田三崎町二丁目一番地　電本二六四六番　振替二一三九番
陽春堂藥院

讀者優待木戶割引券　大相撲　群山興行中　京城日報社

氣象豫報

本邦南海岸沖七五四　日本海南部　七四二

汽車時間

京釜線(南行) [illegible]

同(北行) [illegible]

關釜連絡 湖南線(南行) [illegible]

同(北行) [illegible]

京義線(北行) [illegible]

同(南行) [illegible]

兼二浦支線 [illegible]

京仁線(仁川行) [illegible]

馬山線 [illegible]

倦怠(けんたい)より爽快(さうくわい)へ

……凉味(りやうみ)を喚起(かんき)し……
……神氣(しんき)を甦(よみがへ)らす……

仁丹(ジンタン)の一粒(りふ)價千金(あたひせんきん)

仁丹特長

炎暑(えんしよ)に仁丹(ジンタン)……惡疫豫防(あくえきよばう)
食後(しよくご)に仁丹(ジンタン)……胃腸强健(いちやうきやうけん)
旅行(りよかう)に仁丹(ジンタン)……疲勞回復(ひらうくわいふく)
執務(しつむ)に仁丹(ジンタン)……心身爽快(しんしんさうくわい)

金言

小事集つて完美を成す而も完美は小事にあらざるなり
(西諺)

京城日報 第五版

[illegible]要するに[illegible]紙に付根本的の研究を試みざるこ[illegible]あり同局は數種[illegible]の因[illegible]る多數の[illegible]を精密に調査し第一に冷藏肉牛酪[illegible]實價に[illegible]の如き主要品の實價が各地方に依り[illegible]小者が消費者の貨物の[illegible]なるに乘じ暴利を貪る[illegible]見せり又食糧の人[illegible]國民の食糧費を比較せば巴里にて[illegible]

▲研究を基礎 として各[illegible]方策を確定せるものにして[illegible]米、豌豆、油、煉乳[illegible]小新施設の大要は冷肉、ハム、脂肪[illegible]且工務省と協力して密接の聯絡を[illegible]方法に依り[illegible]機關には（一）定款に依り其加入者をして廉價に物品を購買せしむるを目的とする組合又は團體（二）食[illegible]渡しを爲さざることこなし其他給[illegible]局の直接監督の下に假倉庫に於て食糧品の販賣を營むの方法を加[illegible]

▲從前の相場 に比すれば實に一法三十一參 即ち四割[illegible]の低落を招けりと而して[illegible]は平民[illegible]を緩和するに甚だ良好の結果を齎したれば食糧品騰貴に苦める各國に對し有力の參考資料となるべし

電話規則改正 要旨（四）

▲開港場繫絡船の如き一定の場所に定時繫留する船舶內に於て加入者の施設を爲したる電話機を加入線に接續し得る便法を設けたり故に港內岸壁に繫留する此種の船舶と電話通話を爲すことを得ることなれり

▲官廳公署又は公益事業の用に供する爲特に繰上げ開通を爲したる電話の加入名義は特別の場合の外他人の名義に變更することは能はざりしを開通後一年內は遞信局長官の認可を受けて官廳、公署又は公益事業の用に供する者の名義に又一年後は何等制限なくして他人の名義に變更し得ることに改めたり

▲加入者の希望に依り電話機及び附屬物品を一時撤去して郵便局に保管し置き必要の場合原位置に復舊し得る規定を設け家屋の建築を爲す者又は擧家旅行を爲す者等の爲便宜を圖ることとせり

▲郵便切手を以て料金を納附し得るものに對して受取證を交附し得る便法を設けたり

▲通話を爲す爲對話者を呼出す場合に於て普通の取扱ひを爲すものに先だち至急の取扱ひを爲し得る規定を設けたり

▲呼出しに關して指定したる事項の加除訂正、對話者出局督促、其の他對話者より呼出の請求を爲したる者に對し必要なる事項の通知を爲し得る諸規定を設け又其の通知を普通の取扱をなすものに先ち至急の取扱をなし得る規定を設けたり

▲通話は特別の場合の外二通話時を超ねて繼續し得ざる現行規定を三通話時迄繼續し得ることに改めたり

▲不可抗力に因り電話機設置場所が破壞又は燒失したるとき同一の邸宅內又は構內に在る立退場所に移轉を爲すときは機械移轉料を免除することとせり

▲加入者に於て寄附を爲すべき電話線路を當局の都合に依り其の寄附を受けざるときは附加使用料を低減し又は免除し得ることに改め加入者の利益を圖りたり

▲現時電話の需要增進に伴ひ加入線に接續する私設電話機の數も亦漸次增加の趨勢を示し從つて其の私設電話の施設者中には設備維持及び取扱ひ方法等に付不完全なるものあり一般電話交換に及ぼす惡影響も尠からず加入者の迷惑を釀す虞あるを以て加入線に接續せんとするときは遞信局長官に申請して認可を受くることに改め其の監督及び取締を嚴重にせり

▲長距離通話又は市外電話二回線以上の接續を要する通話請求に對し其の市外回線の接續を爲したる場合に於て關係加入者が市內通話を爲しつゝあるときは一應關係加入者に斷り其の市內通話を中斷し得る規定を設け市外通話者の爲に便宜を圖ることゝせり

米國對西活動 敎化事業多し

△敎化事業 米國の西伯利に對する經濟的施設は曾て報道せし如く大規模のものに非ざること最近に至り漸く明瞭となり目下の所特に注目すべきは西伯利鐵道の檢査事務に止り其他は大計畫のものなく槪して敎化方面に全力を傾注せるが如く即ち基督敎青年會はハバロフスク市に於て活動寫眞に依り宣傳に努め又スパスカヤに於ては日用品の廉賣を爲し一方赤十字病院の施設事業は一時極東三州の主要なる都市到る所に開設せられしが何故か最近後貝加爾方面のものは中止せらるゝに至れり然れども新聞通信等に依る宣傳機關は各方面に行亘り遺憾なき活動を續けつゝあり

△産業方面 又米軍の極東出征當初に於てはグレーブス司令官を長とし數名の專門家を委員とせる西伯利經濟調査會なるもの組織されしが最近は單に其名のみにして別に活動を試みつゝある模樣なく僅に黑龍江ニコラエフスク市に鑛山技師一名、製罐技師一名滯在して何事か調査に從事しつゝあるに過ぎず又北滿方面には敎化事業を圖る機關として哈爾賓に露米文學協會なるものありしが最近黑龍州內アレキセーフスク市に其支部を設置し何事か計畫中なるが如くなるも是れ亦純然たる敎化事業の範圍を出でざるが如しと

紙面大擴張 七月一日より

五歲の星霜を閲したる歐洲の大戰は旣に終熄を告げ、講和到來の日亦將に近きにあらんとす。顧ふに此の世界改造の時運に際し政治、經濟、外交、敎育、思潮等一般社會の出來事は日を追うて倍々繁を加ふべく、從つて之が報道機關の任にある新聞紙の使命愈々重且つ大ならんとす。我社は此の世界の必須的趨勢に鑑み來る七月一日より現在の八ポイント半の活字を以て

一行十四字詰一頁十二段組

とし以て時運の要求に應じ兼ねて讀者諸彥平素の眷顧に酬いんと欲す。而して段數改正後の紙面は

	一段の行數	一頁の總字數	八頁の總字數
假名付	百十四行	[illegible]	[illegible]
假名無	百廿二行	[illegible]	[illegible]

即ち全紙幅の掲載量に於いて假名付にて四段二分五厘强を增し、假名無しにて三段二分五厘增加のこととなる。乞ふ擴張の日を俟ち事實に於て諒解されんことを

京城日報社

錬膽錄

二宮尊德 三笑生

◇二宮尊德翁は、居常床の間に『不動尊』の軸を掛けて居た。或る時山內董正が、之を見て『翁は不動尊を信仰なさるか』と聞くと、翁は『拙者が、未だ壯年の頃、小田原侯の命を受けて、野州物井に來て見ると、土地は荒れ果て、人民は離散して、如何にも手の付けやうがない有樣である。ソコで拙者は、其の功の成ると成らざるとに拘らず、此の土地を救ふ爲めに生涯此の地を動くまいと先づ決心し、假令脊に火の付くやうな場合に立ち至らうとも、決して動くまいと、誓ひ申した。見られよ不動尊と云ふ字は、動かざれば尊しと訓む。拙者は、此の名と、背に火を負うて動かざる、其の形像とを信じ、其の時、此の一軸を掛けて其の意味を妻子に示したのでござる。然し不動佛に、本來どんな効驗があるのやら、愚拙は、それは一向存じ居らぬが、今日に至つたのは、偏へに不動心の堅固に依つたものと心得るので、今日も猶ほ此の通りにして、妻子に其の意を示すまでのことでござる』と答へたと云ふことである。

◇不動尊の信仰は、成田を始め到る處に盛に行はれて居るやうであるが、大方の善男善女は、皆信心の意味を辨へず、只だ多聞の爲めとか、利慾の爲めとか、云ふことになつて居るやうだ。然し如何に多額の寄進を獻ずるとも、背に火を燃やして動かぬ明王を買收することは出來まい。要するに吾人は、不動尊を信ずる前に、自己の不動心を、固めることが肝要である。それは不動尊の効驗を知らぬ二宮翁が、能く不動明王無邊の利益に與つて居るのを見ても、知れるではないか。

責任保證 株式投資（內容書進呈）（一口二十圓）
繁榮店が諸株式に向て極力買を絶叫せしは今日の暴發を見越したる所以なり尙現今の暴騰は、の序幕にして將る熱狂相場は今後に在り此の機を逸せず大株、鄰、鐘紡に向て買進まん少資の遊金を利用し大戰後の榮冠者たらんものは急ぎ參加せよ
公債 株式 現物 問屋 紀の國屋兩替店 大阪市淡路町三丁目 電本局四一四番三七三六番

萬年ペン修理と販賣 振替二三二番 電話二五二七番 城本町 ウツボヤ書籍店

七月號 婦人世界
常識涵養の寶庫
講和が愈よ成立したら世界はどう變るか……長瀨鳳輔
我等は女勞働者なり 女敎師も、女事務員も、閨秀作者も皆等しく勞働者なりとして其理想を高唱す……與謝野晶子
女學校の制服を定めよ……栗杉文部事務官
◎女學校で敎へる體操は果して有効なるものか……西田敬止
◎英米の婦人家庭敎育は日本人の絶好參考……藤井圭非
◎我兒の體格檢査を家庭で實行する手引……久保敎諭
性の敎育を受けた經驗……內海糸子
子供の轉地は山と海と何れか……太田博士
◎子供の發育を妨げる恐怖心
妃殿下に奉つた女子大學生の獻立
◎ジャムと果物の製法……鈴木牧子
洋服の主義 靑楓……夫人幽閑子
生活難小說 待宵草 明石精一
白い布の洗濯……ガントレツト夫人
家庭不和の原因……安井哲子
難病治療法……村井弦齋
◎九州婦人八面觀……名子の公平評
◎新案 病人の寢卷……鏑木高女敎諭
本誌獨特 連載讀物 奧村五百子傳……下田歌子
海水浴は婦人を害する事あり……武藤學士
◎九年間の肺病が全快した實話
◎如何に肥たた人も必ず痩る法……岡崎ドクトル
◎少女の服の改良……十島博士夫人
◎御存じでせうが…… ◎婦人新聞
◎海の底の奇觀……橫山博士
◎嫁ぎ行く身の煩悶（記者の解決）
◎令孃風聞錄 才色兼備の令孃大評判
◎女學校先生評判記（東京女學校）
◎名作物語 源氏物語……幽閑子
麗人傳……長谷川時雨

婦人界に大評判の小說
長篇小說 靈鐘 隱れ家の卷 小杉天外
優婉白芙蓉の如き美人鞠枝を若き伯爵の手より拉し去りたるは誰ぞ、久しく音づれを聞かざりし此美しき鞠枝は利根川べりの一農家に恨めの身を恥ぢて隱れたり きも人は再び懷かしき愛人の腕に歸り得べきか
家庭小說 愛の力 新聞連載 水野葉舟
交際社會に評判の高い伯爵は先年夫人を失つて今なほ獨身であるので、若い婦人は花に寄る蝶のやうに皆伯爵を中心にして集まつて來た、見晴らしのよい田舍の別莊を舞臺として美しい戀の爭奪が開始される
一冊二十五錢 郵税一錢五厘 [illegible] 東京京橋 實業之日本社 振替東京三二六

商業登記公告

土佐紙株式會社取締役沖內久太郎、中內彌三郎、上田虎次、國吉虎太郎、土居門助ハ任期滿了ノ處大正八年五月參拾日重任シ同日高知縣吾川郡伊野町參千六百參拾番地中內松次、同町百八拾參番地森木恒之助取締役ニ當選就任セリ

京城陶器株式會社取締役林平馬及監査役百木三郎ハ大正八年六月參拾日辭任シ同日名古屋市中區小林町拾八番地百木三郎取締役ニ京城府蓬萊町四丁目六拾七番地肥塚正大監査役ニ當選就任セリ
右大正八年六月拾貳日登記

朝鮮貿易株式會社ハ大正八年六月六日支配人郭漢宗ヲ解任シタリ
支配人選任 支配人ノ氏名住所 京城府南大門通貳丁目百參拾番地 福井敬太郎 商人ノ氏名住所 同所 株式會社福井商店 支配人ヲ置キタル場所 同所

[illegible]商號 [illegible] 本店 京城府[illegible] 設立ノ目的 [illegible]製造販賣[illegible] 資本ノ總額 金[illegible] 一株ノ金額 金[illegible] 公告ヲ爲ス方法 本店所在地ノ新聞紙ニ揭載ス 取締役ノ氏名住所 [illegible] 監査役ノ氏名住所 [illegible]
右大正八年六月拾參日登記

[illegible]支配人選任[illegible]支配人ヲ置キタル場所[illegible]

共同貿易株式會社[illegible]大正八年六月[illegible]府水下町參拾五番地ニ各移轉シタリ
右大正八年六月拾六日登記

新設 商號 京城紙函商會 [illegible] 營業所 京城府[illegible]百六拾壹番地 商號使用者ノ氏名住所 [illegible]

朝鮮農業株式會社監査役林衛宗及金永杰ハ任期滿了ノ處大正八年六月拾參日重任シタリ

三巴酒造株式會社取締役高原民五郎ハ大正八年六月拾五日其ノ住所ヲ京城府漢江通拾壹番地ニ移轉シタリ
右大正八年六月拾七日登記

東洋拓殖株式會社ハ大正八年六月拾日哈爾賓埠頭區ウオロドナヤ街千四百貳拾號地ニ支店ヲ設置シタリ

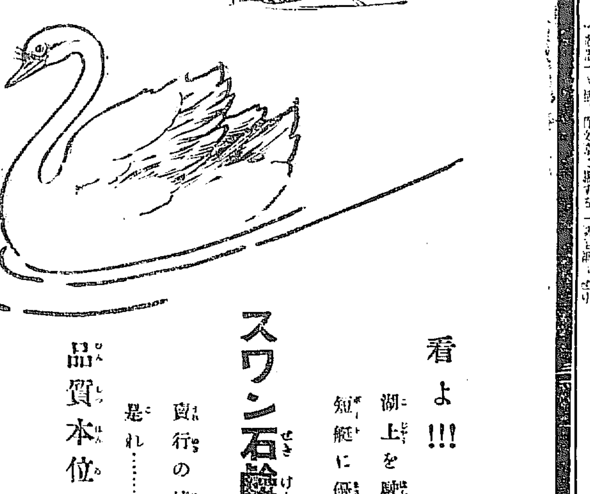
李圭復ハ大正八年壹月拾日其ノ使用スル商號立信商會ヲ廢止シタリ
右大正八年六月拾八日登記

京城地方法院

◎廣告
蠶繭貿易大販賣
販賣期間（自來七月十一日 至來八月十日）
咸南新興郡邑內 新興貿易商會

最新刊
河田嗣郎著 ◇社會問題及運動 定價二圓八十錢 送料十八錢
近代社會主義論 田島錦治著 二、五〇
社會心理學大成 上野 四、八〇
私法論文集第一卷 松本烝治 三、五〇
エフ・スタール著 ◇御札行脚 四國・朝鮮・九州・富士・東北の卷 定價二、五〇
千葉鑛藏著 ◇菊花培養秘訣 定價九十錢 送料八錢
秋成社 [illegible] 三、五〇
京城本町一丁目 大阪屋號 電話[illegible]二〇八六番 振替[illegible]二五七三番

笹山章著 ウツボヤ書店發行
好評三版出來
新案獨學 イロハ辭典付 鮮語自在
著者は鮮語獨習に關し獨創の見地を有し從來の所謂獨學書類と其選を異にし優に一新機軸を出す特に新案の文字を冠せり
上欄にはイロハ辭典及朝鮮地名まで付す
本文には諺文の組立、文法、假字テニヲハ、讀方、會話、日用單語（解題）
各語に對し俗語、作文等に關する一切を網羅せり
ポケット形二百頁
定價五十錢（送料貳錢）
發賣元 京城日報社 代理部 振替京城三〇〇番



看よ!!!
湖上を馳る
短艇に優る
實行の捷さ!
是れ……一に
スワン石鹼の
品質本位の賜
製造元 神戸
日本リーバーブラザース株式會社

貯金研究社長 高柳淳之助著 第廿四版製本出來
三六版紙數百六十六頁 雜誌貯金之研究二冊付
定價金九拾錢 送料六錢

金錢利殖法の極意

本書一たび世に出づるや經濟界の一大驚異を來し、天下の實業家に一大覺醒を與へたり。好評湧くが如く、賣切又賣切のところ今回第廿四版出來。至急御注文を乞ふ。
賣行多大、手數省略の爲め代金引替御斷り、代金添へ御註文を乞ふ

◎◎本書の內容 大略左の如し。

▲第一 毎日十錢 づゝ貯金すると七年目には六百圓になるから其後は貯金なぞせず只一割二分に利殖すれば僅二十五年で一萬圓になる計畫
▲第二 僅二百圓 の元金を一割二分に利殖すればそれでも三十五年に一萬圓になる故に財産を作るには貯金より利殖法が大切だといふ詳論
▲第三 利殖計算 たとへば茲に何百圓の元金があるが之を年何程の利子で何年利殖すれば何千圓になるか、それを極簡單に胸算で出す方法
▲第四 警官問答 一萬圓位の貯金は誰にも出來ると云ふ廣告に付高柳先生が警察官から取調べを受けた時に答へられたる巡査一萬圓貯金法
▲第五 貯金秘訣 貯金の出來ぬは何故か、かくの如くせば、誰にも面白く愉快に貯金が出來ると云ふ心理學から結論した高柳式貯金奬勵法
▲第六 貯金の害 大切な火でも火事を起せば大害を起す如く貯金でもやり樣によつては大害を起す貯金奬勵の爲め一時世は疲弊した實際談
▲第七 郵便貯金 郵便貯金はどういふ風に預けると利益になるか如何なる人々が郵便貯金をなし如何なる人々は郵便貯金すべきでないか詳說
▲第八 銀行預金 銀行は一種の商人だから掛引によつて高い利息で金も預けられる、其の掛引方法を詳說す
▲第九 三年預金 三年預金を取扱つてゐた銀行も隨分あつたが今は殆んどツブれて仕舞つた三年預金を取扱ふ銀行は何故ツブれるか其の譯
▲第十 生命保險 貧乏人には保險の必要な事金持ちには不必要な事、どの保險會社が確實で掛金が安いか、會社の組織と利益配當付の保險
▲第十一 貯蓄債券 五百圓千圓のクジには中々當るものでない事、それよりむしろ定期預金でもして高い利息を取るが利益である事
▲第十二 農工債券 これは一番よい債券である事それから之を買ふ人が多くなれば地方町村が榮えて行く事利廻りよき事確實なる事
▲第十三 物價騰貴 或人が貯金許りして居たら金に殖えたが物價騰貴の爲め今に樂が出來ぬ實驗談然らば如何にすべきかの問題研究
▲第十四 日本銀行 明治十九年に僅二百圓出資して來た其の株は今日では大資産になつて居る事株は增資が樂みな事
▲第十五 貸家貸地 地所を買つたり家を買つたりする事が好きな人は株を買ふ人々を危險だといふが何れがよきか、この大問題の研究
▲第十六 經濟軌道 電車にも軌道がある如く經濟界にも一定の軌道があつて何年目かに一廻轉して來ることが經濟學者の皆承認する所
▲第十七 軌道縱斷 即ち前記經濟軌道を縱斷したら圖解であつて昔の人でも偶然に之を利用した人は働かずして富豪となり得たる也
注意 この第十六、第十七が本書の最も價値のある所特に軌道縱斷圖は高柳先生の苦心創案のもの也
▲第十八 一力貯金 一萬圓位の貯金は誰にも出來ると全國の新聞に廣告してあるが其の方法と積算表、一力貯金の歌まで一通り分る
▲第十九 金利積算 年三分、年四分、年五分、年六分、年七分、年八分、年九分、一割、一割二分、一割五分、年二割の五十年間元利積算表
▲第二十 一分の差 年利一分の差は利殖上非常の大差がある、それを表により說明し金持ちになるには一分の差に注意せよとの詳說
▲第廿一 青年貯金 同じ百圓儲けた人でも廿歲で儲けた人と六十歲で儲けた人では二十倍の差がある故若い時儲けべきものとの詳說
▲第廿二 貯金半額 一萬圓の半分は五千圓だが貯金する一萬圓の半分は五千圓だといふ事詳細に說明してある、これ高柳先生の持論
▲第廿三 四十億圓 高柳先生は無一文から既に五十萬圓以上の財產を作つて居られる、それが一生の間に四十億圓に利殖出來る計算
▲第廿四 三大事業 高柳先生は斯の如く大目的の下に目下十數種の會社の取締役をして居らるゝ、そして今後の三大事業と其の抱負

右內容の大略を讀みたるだけにても面白きにあらずや、記事の如何に有益なるかは讀了者の等しく讚美する所なり、之を未だ讀まざるの士に一讀を勸むると同時に各種學校、青年團、圖書館、銀行會社の備品として推奬す

雜誌添付 此際至急御註文の方に限り雜誌「貯金之研究」二冊宛添付送本す

東京市神田小川町三五 振替東京三六〇二〇番 金山堂書店

專賣特許
◎八千代精米機
◎精石數特別號六十石以上
本機の特長
一、搗減僅少にして精白清麗佳良なる事
一、精白は無砂混砂自由なる事
一、酒造精米に最も適當
◎精石數壹號十四石以上
敷島精米機

敷島籾摺機
◎本機は壹馬力半動力を以て十時間三十五石乃至四十石の玄米を得
御申越次第カタログ贈呈す
大阪市西區江戸堀北通三丁目 株式會社 今橋商會 電話土佐堀二一三〇・八二番 振替大阪一四四〇九番
東京支店 東京市芝區櫻田久保町
廣島出張所 廣島市猿猴橋町
九州出張所 福岡市博多上呉服町

京日案內
▲申込後中途掲載中止の節は料金不返戻
▲六回以上の御申込は特に[illegible]割引のこと
▲御照會は返信付にあらざれば回答せず
普通七拾錢 一回前金 番外壹圓 一回前金（二十字詰但五字增毎に[illegible]）

電話高價買入◎電話金融 光化門通坂本 電一四四七番

◎社員高給招聘 希望者履歷書携帶來談地方は送れ 京城黃金町貳丁目 日清生命朝鮮支社

店員入用 拾四五歲より貳拾歲前後小學卒業程度本人來談但市內に要保證人 京城本町一丁目 ますや呉服店

店員募集 筆記ノ素養アル者自筆履歷書携帶來談アレ 蓬萊町一ノ九〇 平田運送店

◎職工募集 男女數名 京城岡崎町八 京城清涼社 電話一四二〇番

京城電話讓受たし 但し賣方當分不用に付其間無料御貸申し置くべし 御報參上 電話龍山三三〇番 [illegible]

代診藥局生並看護婦入用 希望者履歷書送附又は來談 仁川 松本病院

白色ウズラ鳴鶉 朝鮮鶉の飼養及鶉の飼料破格廉賣 門司市本川町四丁目 [illegible] 養鶉所

◎六神丸 定價二十粒壹圓 五十粒貳圓五拾錢 但送料要セズ 京城長谷川町七丁目 中華醫院藥局 電話六七五番 振替京城六二一三番

◎うづら 改良鶉 市川系奈良鶉は鶉界の王 鶉の成功は第一飼育法の完備 鶉飼育法送呈 貳錢切手送れ 奈良市井上町 市川鶉飼育研究所

吸入ガスエンヂン 英國製二十五馬力中古一臺及び附屬品 讓渡す 京城府[illegible] 京城永樂町 電話[illegible]四七 [illegible]

◇五國外相會議

米國大統領ウイルソン氏はブラッセルに赴き英國首相ロイドジョージ氏はヴエルダンに旅行中にて目下四頭會議は開會せられず之に代つて五國外相會議の討議に上りたる問題は（一）獨逸がダンチッヒを國際聯盟の管理に置くべきことを承認し國際聯盟の下に最高委員の任命を見たる場合に於て適用すべき法規（二）波蘭、小露間の休戰問題（三）ユーゴースラヴと獨系墺太利の係爭たるクラーゲンハフルト地方に對する人民投票の件なり（巴里電報）

◇海軍案不受理

海軍條件に關する獨逸側の對案は聯合國より表示したる聲言に對しては不同意の意志を稱へ若干海軍力の維持を要求し居れるにも拘らず獨逸は右海軍力をも必要とせざるものの如くこれを以て賠償の一部分に編入されたき意志を仄かせる模樣なるが聯合國は拒絶せり又ヘリゴランド要塞の破壞に就ては漁民の生業を保障することを希望し來れる由なるがヘリゴランド島要塞を破壞したりとて漁船繫留所迄破壞すべきに非ざれば斯る獨逸側の言分は大局の上より問題とならず聯合國は海軍條件に就き無條件承認を迫り其の對案を受理せざりしものなりと（巴里電報）

◇伊首相歸國目的

十三日巴里來電＝マタン紙の報ずる處によれば伊太利首相オルランド氏は十二日羅馬に向け巴里を出發せり同氏の目的は伊太利議會秘密會議に講和會議の事業進捗に關し報告し同時にジアズ將軍の指揮するカルニチヤ（墺太利伊太利方面）戰線の萬一の場合に處する準備方法を講ぜんためなり又オルランド氏はウイルソン、ロイドジョウジ、クレマンソウ三氏に書を寄せてユーゴースラヴ問題に就タルジユウ（佛國）ハウス（米國）兩氏が起草したるアドリヤチック問題の解決を拒絶したるを以て伊太利は今や倫敦協商の嚴正なる履行を要求すと述べたるがオルランド氏は講和條約調印の際は直ちに巴里に歸還すべしと（倫敦電報）

◇各黨首領會議

十九日ワイマールに於て各黨首領と共に閣議を開き時局につき討議したるが何等決定を見るに至らざりき（伯林電報）

◇米海軍豫算通過
亞細亞艦隊新設されん

十六日米國下院は海軍豫算案を通過せり海軍卿ダニエルス氏は大西洋太平洋兩艦隊を編成し更に亞細亞艦隊を置く旨聲明せり（紐育電報）

◇孟督軍轉任か

成勳に達したる情報に據れば中央政府より孟督軍に對し熱河都統に轉任の内命ありたりとの事なるが事實とするも現在の大官の多くは孟氏と姻戚關係ありて之等は其爲失脚非境に陷らん事を恐るると共に孟氏部下の軍官も吾身の危險を怖れ孟氏の轉任を悅ばず其留任を要請するは必定にて孟氏も亦從來の關係上直に轉任を承諾するや甚だ疑問なるべしと（長春特電）

◇西北邊防司令任命

廿一日の國務會議にて徐樹錚氏に西北邊防司令を兼任せしむるに決したり嚴に任命されたる西北駐辦使にては軍隊を動かす權能無かりしも今回の任命にて此權能を附與されたるものなり（北京電報）

◇上海靜穩に歸す

上海は其後靜穩に歸し日本人小學校は二十三日より開校する事に決せりと（上海電報）

◇政治運動警戒

今回の學生暴動同盟罷業に鑑み上海の聲價なる商人殊に英國商人側は上海に於ける政治運動及び不穩なる言論に對し嚴重なる警戒を爲すに至れるが右は同地一般の在留外人をして痛切に不安の念を懷かしめたるに依ると（上海電報）

◎參謀見學團來去

[illegible]參謀見學團の一行二十名は大[illegible]け馬車にて市街を一巡し次いで北山なる玉泉廟にて吉林の[illegible]を賞し[illegible]の招待宴に臨[illegible]

運動界

▼京俱軍捷つ　東洋協會[illegible]京城軍の勝利に歸した

▼練習野球試合　漢陽俱樂部は廿一日京中運動場に於て[illegible]

◇郭再び辭職電請

吉林省の秩序恢復困難なるところより中央に向け辭職申請中なりし郭吉林省長は慰撫留任の命ありしも辭意固く再び辭職聽許を電請せりと（長春特電）

◇鐵道院從業員增加

鐵道院は從業員に八時間勤務を爲さしむる爲め人員二千百十六名を增加す可く此豫算八十七萬圓を計上せり（東京特電）

◇江藤氏危篤

政友會總務江藤哲藏氏は廿一日病勢險惡に陷り見舞客多し（東京特電）

◎排日憂ふるに足らず
東拓理事　夏秋十郎氏談

十七日入京せる新任東拓理事夏秋十郎氏は語りて曰く

余は任に青島に在ること一年八箇月今回東拓に入社することゝなれるが朝鮮滿洲は昨年上京赴任の途哈爾賓北京天津に遊びし際經由せし位のものにて從來緣故薄かりしもこより大いに研究す可し支那人の排日騷ぎは遺憾に堪へざるも多少新聞紙上針小棒大に傳へられたる傾き無きに非ず幸ひに山東省は督軍省長其他支那官民の諒解を得て無事なるは欣幸とするところなり今回の事山東問題が原因なりと云へど既に還附を聲明せる以上何等騷ぎ立つ可き理由もなきに唯一部支那人の策士或は一部外人の使嗾により年少の徒が妄動せる者にて結局は自ら困憊し天上に唾するの結果を得ることゝなる可く吾人は何等の動搖も不安も感じ居らず尚支那人中に大勢に通ぜず他の傀儡となりて野蠻無理解の舉に出で引いて多數人民の實生活上の苦痛迷惑を顧みず而も自ら稱して愛國的行爲なりと言ふものあるに至りては沒常識眞に憐まざるを得ず青島は我が占領以來資本の投下さるゝもの既に約一億に垂んとし山東省の物資を原料とせる諸工業の勃興著しくその中落花生油等は米國其他に、麥酒は日本に輸出す、紡織等は

▲支那に販路を求めて何れも迅速の發展を見目下輸出入年額總計二億圓に達し盛況獨逸時代に倍するの有樣なり而して勿論青島還附後と雖も我專管居留地の設定を見ることなれば是等事業の保護に就ては自ら其の途ある次第にて青島租借地二萬山東沿線一萬の邦人は何等不安を感ぜず益々進展を遂しつゝあり世上今回の排日騷ぎに就き往々悲觀論無きに非ざれど概ね机上の空論にして足一度彼の地を踏まば必ずや其論據を覆す可き事實に遭遇すべし邦人多年の辛苦と資本との結晶は一朝一夕の變により容易として覆滅さるべき脆弱なるものに非ず然れ共油斷はもとより大敵にて支那に於ける英米資トラスト、在留外國宣教師等の行動の辛辣徹底的にして傍若無人なるを見る時は寒心すべきものあり我國には幸か不幸か斯くの如き光榮ある宗教家實業家等を有せざるもこれよりは宗教家と言はず實業家と言はず國民朝野を舉げて支那と

▲共存の大義を自覺し是れを宣明體現するに全力を盡す可くかくて始めて東洋大局の問題を解決し得可き乎。東拓は今回江蘇山東直隷の三省に營業區域を擴張するの認可を政府より得たるが差當り青島或は濟南に支店を開設すべくその放資の方針等に至りては未だ言明の限りに達せず尚會て問題たりし青島の阿片は現政府の方針の下に極力取締を勵行し居れり（東京支局）

◎朝鮮春繭收入
一千百萬圓以上

本年朝鮮の春繭收量は昨報の如く十萬四千石内外の豫想なるが繭價は生絲市況の惡騰にあひ益々高張り一方にて大邱地方に於ける產繭家對商人間の賣買値の平均は一斗十二圓内外となり京城平壤方面十一圓を下らず全鮮の春繭相場は一斗十一圓五十錢見當に就き結局本年朝鮮養蠶家の春繭收入は一千百萬圓内外の巨額に達すべく此の勢ひにて夏秋蠶の飼育あらば一千五六百萬圓の蠶收は期待し得られざるに非ず地方農村が一般農產物暴騰の折柄更に此の繭高あり財力の充實は豫期以上のものにて本年更に米の豐作あらば朝鮮財界の膨脹は偉大なるものならんと某銀行家は語れり

◎鮮銀米穀貸出

鮮銀の米穀貸出しは全然思惑方面の放資を停止し移出口並に移出米の買出し等を主とし居れるが最近の融通現計は石數三十五萬石金額約一千百萬圓見當にて各市場の在米減少に伴ない漸縮の狀態なりと

◎鐵道と生牛輸送

滿鐵京城管理局に於ては地方により惡口蹄疫の發生ありたるに付生牛の輸送に制限を加へゐたるが十九日總督府告示を以て取締方釐則に付同日以後全鮮を通じ生牛の受託をなす事となれり

◎全鮮穀物貿易商大會
第二日＝議事終了す

夕刊紙續＝議發後一昨午より再開『包裝に關する事項』に入る

第一　朝鮮產叺改良の件（大邱提出）

大邱安松熊吉氏より『叺の改良策を施されざるが故に疑逆上多大の損失を蒙りつゝあり叺檢査規定により不合格品も逐年增加の趨勢なれば一日も速かに施行されたし』と述べ議長の發議により『叺及繩』と修正し滿場可決

第二　粗包裝を叺に改良し之が實行獎勵を其筋に申請するの件（京城提出）

群山松本市五郎氏の議案說明に先だち本案は前日委員附託となりたる『穀物賣買は各道を通じ正味百斤建に一定し之が實行に關し其筋の援助を仰ぐ件（京城）』『籾一叺を百斤建とする事（水原及び鎭南浦提出）』『穀物を斤量制度にする事（鎭南浦提出）』と同一性質のものなれば附託委員長釜山坂田文吉氏より委員會の經過と原案を

一、籾の包裝は成べく叺入とすることを其筋に申請の件
二、籾は總て百斤入りとする事を其筋に申請するの件
三、穀物を斤量建制度に爲す事を申請の件

と原案修正を滿場に諮る群山松本氏は『籾を百斤入とするは不可能なり、八十五斤位にて可なり』と對し臨席の綾田技師は『叺獎勵の普及され居らざる今日容器を叺へりと限定する時は叺拂底の時に於て實に困難なり。又籾一叺を百斤と爲すべし』と述べ釜山の坂田、群山の松本氏間に論難あり

▲議場騷然として直に止む所を知らず乃ち議長の發議にて單に『斤量建とすること』と變改し第一項は委員附託となし其の人選は議長に一任して終結す

第三　穀物包裝荷造の改善の件（釜山提出）

第四　米穀用の叺の改良は各產地に於て行はしむ事（元山提出）

類似の議案なるを以て一括して『穀物包裝及び荷造りは各產地に於て改良せしむる事』と修正し釜山坂田、元山龜谷愛介氏より說明ありて可決

第五　色彩記號を以て穀物を辨別する事（大邱提出）

大邱安松熊吉氏より『品種別に依り叺の外面に記號を施しなば外裝を一見して品種の何種に屬するやを知るを得べく緊要な事柄也』と說明し滿場耳を傾くる者無く遂に常に穀の意嚮を質すことゝなりたるに綾田技師も『實行困難なり』とてテンデ問題にせず、結局撤回す之を以て包裝に關する事項を終り『檢査に關する事項』に移る

第一　籾の生產檢査の實行を其筋に請願の件（大邱、京城、仁川、鎭南浦提出）

第二　米豆の檢査規則制度に關する要望（釜山提出）

第三　米穀檢査不合格品に對しては鮮內賣買を許されたきこと（元山提出）

第四　小麥、荏子、小豆、大麥等主なる農作物に檢査を加へられたき事（平壤、水原、鎭南浦、元山等の提出）

第五　檢査手數料は他の地方費に充當せず穀物改良獎勵費に充つることを其の筋に請願する事（大邱提出）

第六　咸鏡南北道及び江原道に米に檢査を行ふの件（元山提出）

何れも各提出地代表者の說明あり日暮に近きを以て討論を避け

▲一氣呵成に議事の進行を圖り忽ち議了し『雜件』に入る

第一　常聯合會に左の規約を設立する事

其一　同業者間取引上の規定
其二　該規定に反則の同業者に對する制裁及仲裁（鎭南浦提出）

提出者の說明ありたるも本件は頗る重大なるを以て賛否の議論囂々たり結局提案者に於て次回迄に組合規約の草案を提示し其の案に據りて更に討議することに決定せられんことを要望する事（鎭南浦提出）

第二　貯水池を樞要の地に設置して朝鮮農產物生產額の增加を計ること

第三　耕地開墾者に對し補助金下附及び一般農家に金肥施與の獎勵を行はれん事を建設するの件（京城及び鎭南浦提出）

前案に對しては滿場可決、後案に對しては高野氏より綾田氏に向ひ『當局の施肥に對する方針決定せりや否や』を質し綾田技師は總督府としての意見は未だ定まらざるも農商工部にては施肥を獎勵することに決定せりと答へ滿場一致をもつて本件を可決したるが高野氏は更に臨席せる東拓米穀主任上田文三郎氏に對し『東拓の肥料貸付の現狀及び其の方針』等に就き說明を求め上田氏詳細に陳述す

第四　東拓の籾取引は一般の價例に倣ひ斤量建にて取引されむ事を要望するの件（木浦提出）

提出者木浦木村健夫氏より提出理由の說明し上田氏より詳細答ふる所ありて可決　上田氏は尚本聯合會に於て可決せる議事中

▲農事改良に關する大部分は農民が實行するものなるべく農民をして徹底的に實行せしめんと欲せば勢ひ地主の力を藉らざるからず故に全鮮の主なる大地主を本會の顧問か或は名譽會員に推し農民との連絡を圖られば最も妙なるべし此は東拓の意見にあらず自分個人の意見なれども氣付きたれば御注意申上ぐと述べ滿場の賛成あり直ちに高野氏より追加議案として之を提出し滿場一致にて可決す

第五　本會に全鮮の主なる地主を顧問に推薦する事

大阪側の提出議案及び朝鮮郵船、尼ヶ崎汽船部、互光商會、內國通運、澤山商會、大阪商船等より提出せる海上運輸に關する議案は總て一括して各地委員より選出したる一名宛の代表者と共に別に協議會を開催して協議することゝし尚ほ次回の大會は明年群山に開催する事に決議し茲に全く議事を終り大池議長閉會の辭を述べ高野省三氏議長に對する挨拶を爲し閉會せり

◎京畿地方經濟狀況（二）

▲農工商資金流動　大正七年末現在に於ける本道所在諸會社の放資額は拂込濟資本金三億七千六百五十六萬四千八百六十五圓（外に外國會社米貨一百萬弗及び三萬法あり）諸積立金一億五千二百廿萬九千九百五圓、社債六千五百六十九萬一千四百四十一圓、借入金三千九百二十五萬二千二百四圓、以上合計六億三千三百七十一萬八千四百十五圓に達せり而して七年中に拂込まれたる資本額一千八百三十九萬一千三百九十圓、內新設五百九十一萬七千九百四十圓、增資拂込一千二百四十七萬三千四百五十圓にして更に之を事業別に內譯せば農業五十五萬九百五十圓、工業一百十四萬七千五百四十圓、商業一百三十二萬圓、中央銀行一千萬圓、其他の銀行五百三十七萬二千九百四十圓なり貸金業者は內鮮人事業、鑛業を通じて著しき增減を見ずと雖も各種企業者は財界の發展に伴ひ逐次增加し其の放資額從つて膨大を來したり今七年中に於て新設又は拂込を爲したる銀行會社並に解散したる銀行會社と其資本金額を掲出すれば左の如し

▲銀行會社拂込及新設

會社銀行名	區分	資本拂込額
福壽洋行	新設	五〇、〇〇〇
醴[illegible]業	同	五、〇〇〇
振成興農	拂込	五、九五〇
開城電氣	同	二五、〇〇〇
大昌貿易	同	一二五〇、〇〇〇
朝鮮銀行	同	二、五〇〇、〇〇〇
朝鮮農林	新設	一五〇、〇〇〇
朝鮮紙	同	七五、〇〇〇
開城電氣	拂込	一二、五〇〇
府業倉社	同	一二五、〇〇〇
京城銀行	拂込	一五〇、〇〇〇
水原印刷	新設	一五、〇〇〇
京城日報	拂込	九〇、〇〇〇
富[illegible]團	同	一五、〇〇〇
開城社	同	三〇〇、〇〇〇
大正石粉工業	新設	六〇、〇〇〇
京城製絲	同	一二五、〇〇〇
京城信組	拂込	二五、〇〇〇
永信社	同	二七〇、〇〇〇
朝鮮[illegible]行	同	三、五〇〇、〇〇〇
商業銀行	拂込	[illegible]
龍山倉庫	新設	[illegible]
朝鮮精米	同	[illegible]
高麗藥業	同	[illegible]
開城電氣	拂込	[illegible]
韓一銀行	同	[illegible]
漢城銀行	同	[illegible]
東洋畜產	新設	三八〇、〇〇〇
朝鮮煙草	同	四四〇、〇〇〇
殖產銀行	同	四、一九七、九四〇
日本醬油	拂込	二〇、〇〇〇
開城電氣	拂込	一二、五〇〇
共益社	同	二五〇、〇〇〇
商業銀行	同	一二五、〇〇〇
[illegible]鮮精米	同	一〇、〇〇〇
朝鮮銀行	同	五、〇〇〇、〇〇〇
合計		一八、三九一、三九〇

▲銀行會社解散表

銀行會社名	區分	資本額
商務農園	解散	五〇、〇〇〇圓
濟物精米	同	五〇、〇〇〇
漢湖農工	同	五〇〇、〇〇〇
合計		六〇〇、〇〇〇

▲民間金利の消長　本道內に於ける個人間貸付金は年々低下しつゝあり既往三年間の貸付金百圓に對する平均月利を表示すれば左の如し

		七年	六年	五年
朝鮮人	高	三八四	四四四	四五〇
	低	一九四	[illegible]	二一四
	普通	二六二	二七〇	二九〇
內地人	高	三六〇	三八〇	三六〇
	低	一四八	一八五	一六五
	普通	二三六	二五〇	二六〇
外國人	高	二九二	二[illegible]八	三三五
	低	一四〇	一三〇	一六〇
	普通	二一三	一五五	二一二
內地人對朝鮮人	高	四一〇	四二五	四五〇
	低	一九四	一八八	二二〇
	普通	二六〇	二六三	二九〇
朝鮮人對內地人	高	四六六	…	…
	低	一八三	…	…
	普通	二八三	…	…
市場貸	高	七五〇	九九〇	九三三
	低	四五〇	五二五	四六七

但し稀に需用者との特約により利息往々飛び離れたる高利のものなきにあらざるも此は特別の事情に基くものなり而して是等も漸次減少しつゝあるものゝ如し（完）

◎三代議士來釜

小泉、山口、牧山三代議士は廿二日午前五時四十分著列車にて來釜東萊溫泉に赴けり（釜山特電）

人事消息

▲齋藤侍從武官　滯在中の處二十二日午後七時五十分南大門發列車にて歸任の途に就く

▲中村孝三郎氏（慶北警務部長）▲神田良平氏（忠南同上）▲大橋常三郎氏（慶北同上）▲小田爾氏（江原道同上）▲前田良太氏（忠北同上）▲松倉商次郎氏（平北同上）▲鈴木武臣氏（咸北同上）▲大橋又三氏（咸南同上）▲小河市之丞氏（平南同上）▲林榮樹氏（黃海道同上）▲笠貞次郎氏（全北同上）以上廿二日入城

▲伊藤四郎氏（平壤郵便支配人）廿二日夜入城不知火へ

鳥瞰錄

日本でも米問題から醸造酒を制限せよとか米が酒に化飛び火して居るが酒は元來米の子だから其う云ふ議論の出るのも尤もだ▲米國では禁酒をやつて居るが之れは飲む事を禁ずると云ふのではなく酒を賣る事を禁ずると云ふのである▲自由に飲む米國だ飲む飲まぬは個人の勝手である其れを禁ずると云ふのは個人自由の束縛となるだから賣る事を禁じたと云ふ事である▲而して賣らなければ如何に飲み度くても飲む事が出來ぬで自然と禁酒となる譯だ▲日本でも造酒を制限すれば飲み度くても酒が無くなる一種の禁酒じやあると上戸黨は不平かも知れぬが其の樣な事は何うでも好い日本の目的は米が問題だから從つて酒に迄累つて來る▲酒を止めちやない米は高等官のお役人に許さう殺人をやらするのだから、盃位取上げる、は敢て怪しむに足らぬ▲盃を取上げると云へば米國オハイオ州では五月二十六日から全州に禁酒の新憲法が實施せられた▲處が同州のブリッヂポート町に世界第一と稱せられたバーがあつたが之も遂に閉鎖するの止むなきに至つた▲此町は人口僅に四千餘の小市街であるけれど其のバーは間口が四十間で七十七人のボーイを使つて毎日の賣上杯數が二萬杯金高で一萬圓と云ふ實際世界一の名に背かぬものであつた相な

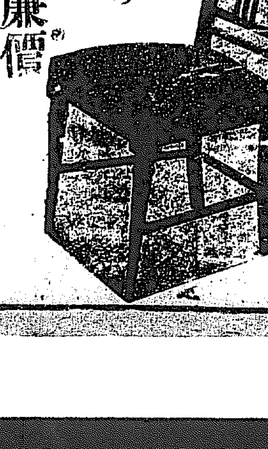
京城　京阪聯合
割引料金　四十錢　一等　廿五錢
廿一日より廿六日まで六日間　興行中
（御電話一名一枚に付有効）

手紙文庫
◉好評如湧　忽四十版
◇苦心の大著　▼▼どんな手紙でも頭を痛めず即座に書ける
今回完成せる新撰美文手紙文庫は有名なる美文家川上眉山先生が高足岩田鳥山先生が半生の心血を傾倒して完成せし苦心の大著にして全卷を春、夏、秋、冬、雜の五卷に別ち各卷を更に月別とし其月々に必要な用語、類句文例を漏れなく集め其數實に一千三百餘種に達し悲しい手紙、嬉しい手紙、濃艶な手紙に敬具の手紙、感想文に時候文、其他婚禮、祝賀、弔慰、見舞、通知、誘引、照會、依頼、謝禮、催促、招待、訪問、兵事、學事、賃借、贈答文、に到る迄本文庫さへあれば頭を痛めず即座に思ふ通りの手紙が自由自在に書き得らる[illegible]

特價[illegible]
東京市青山南町六ノ一三五　手紙文庫刊行會　振替東京四八六
此際先著五百名に机上便覽　◎書翰文用語集　一冊無代添付進呈

アナタの胃病にはマーゲン
八木田博士御處方　島田博士御推奬
強胃消化錠　マーゲン
本劑の特色　二博士確證の本
大阪市東區上本町五丁目　田畑保樂房

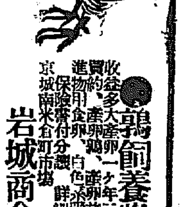
開業廣告
謹啓各位益々御多祥之段奉賀候陳者不肖儀多年清水材木店在勤中は一方ならぬ御愛顧を蒙り難有奉感謝候今般合意の上同店を辭し左記の處に開店仕候間從前通り御引立御用命の程偏に奉願上候
大正八年六月
京城水標町五五（咸興成隣）電話四壹四番
岸野材木店
岸野半助
多年弊店精勤中の處今般前記の通り獨立開業致候間弊店同樣御引立之程偏に奉冀上候
大正八年六月
京城岡崎町九七
材木商　清水繁太郎
店員　岸野半助

熊平洋家具の特長は
堅牢にして廉價
（カタログ進呈）
京城　熊平支店
電話長三一六二二四番　振替京城一二二五番


內科　胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話[illegible]

御化粧用
ベスパー石鹼
VESPER
TOILET SAVON
大連　萬玉洋行

富の秘訣
愈々戰後大相場の出現は數理の示す處にして安全確實の株式の鞘取の好時機は目捷に迫れり當店が責任を以て年三割以上の確定配當を爲す外大相場の多年の經驗と手腕とに因り鞘取專門に行へば年拾割乃至拾五割は確實なり詳細は當店發行富の秘訣を見よ（御申越次第送呈す）
◎株式放資利殖會（壹口金五拾圓也）
◎簡易現株賣買法（參千圓の株券も五百圓で買る）
大阪市西區土佐堀通り三丁目
信託業　現株賣買及
三河屋商店
電話土佐堀一二三一八番・二七七四番・二四六八番
振替大阪九七八〇番　受信略號（オサカイリヤマサン）


◉鶉飼養獎勵◉
收益多大　產卵一ケ年三百以上　孵化器賣約、產卵鶉、白色、[illegible]、卵、
進物用食卵、鶉卵　保險附分讓　詳細五錢郵券送れ
京城南米倉町市場
岩城商會養鶉部

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

仲よし(龍山にて)

◎出征部隊への
同情の薄らぎしを
深く御憂慮あらせられて 畏くも勅語は下賜せらる

西伯利及び北滿州出征部隊の將卒に對し 天皇陛下より優渥なる勅語を下賜せられたることは記報の如くなるが右に就き某將軍は語る 今日我國民は生活問題に惱んで居るためであらうが出征部隊に對する同情の薄らいだと云ふとは最近慰兵金品が殆ど跡を絶つたと云ふとに依ても證明される 國家に捧げた身とは云ひながら寸時の油斷もならぬ西伯利に苦しみ困と戰つて不自由な生活をして居る將卒こそ實に氣の毒の至りである今回畏くも此の點に深く御憂慮あらせられ此勅語を下賜されたと云ふのである陣中の將卒等は有難き御恩に感激して一層其責務を盡すであらう(東京)

◎無茶論に花が咲いた
釜山の穀物商大會
鮮かな大池翁の議長振 群山委員鐵條網を張る

釜山で開催された全鮮穀物商大會の第一日は名論百出で四十幾ツかの議案中タッタ四ッか五ッしか議了されないので此分ぢや一週間は恐らか十日位掛りさうに見わた爲か二日目は無茶苦茶に議事を進捗させた無茶苦茶と云へば安松大郎が呶の記號に據つて米の品種を識別する樣にしたいと滿場の

笑聲裡に 敢然主張すると同じ卓子に陣取つた多田新義州が『ツイ御隣の提案者には甚だ以て御氣の毒だが拙者は大反對で御座る』抑も大郎氏の議論の如きは無茶苦茶と申すべきだ』と上品に罵倒し滿場大喝采是に於て平安松君

赤に成 つて怒り出し『提案の内容も研究せずに漫然無茶苦茶になどとは怪しからぬ義州君こそ是れ眞に無茶苦茶だ』と大いに無茶苦茶論を戰はした議場漸く理に馴れ切つて御座る大池議長は議論はゴ兩氏に任せて逗いてサッサと次の議題に掛つたので安松君今度は

議長に食 つて掛る贊成でも反對でも屹度一度は意見を述べねば濟まぬらしい仁川の力武君が落語家もどきに扇子をパチ〱『わ、わたくしは……』と悠々たる態度と口調で演出すと其處此處でクス〱と下を向く、議長が『本聯合會の次回は群山で開會します』と宣するや

寢耳に水 で吃驚して起立した三雲君『群山としては寔に以て光榮の至りで衷心感謝致しますが狹い土地の事で何にもお構ひ出來ませぬ……』と御挨拶に及ぶと天日君『モウ鐵條網を張りをつたな』同じ三雲君が粉の消外搬出と檢査法に就いて盛んに述べ立てた

綾田技師 が臨席のが幾度か質問を發しても答辯が長過ぎて要領を得ぬと見ね『へ……私には一向判りませぬ』東拓の上田君が『本會でどう如何に議決されても實行する者は農民だから、農民の連鎖を取る爲めに地主を賛助員にしたらよからう』と注意すると

忽ち大賛 成斯くて聯合會も幾多の有益な議案を議決して終了した一同は二十二日東萊溫泉に赴き二日間ブッ通しの骨休めした

◎赤手空拳で 千萬の富
問題の湯淺氏

鈴辨事件に關聯して家宅捜索を受けた今問題の焦點となつて居る神戸の湯淺貿易會社々長湯淺竹之助氏につき消息通は曰く『湯淺氏は紀州湯淺の産で幼年の頃横濱の増田商店に奉公し商業を覺ねて明治三十一年神戸に獨立の商店を開き

◇**輸入貿易** を始め最初はメリケン粉を主として扱つて居たが漸次砂糖、穀物類、棉花綿絲類迄も販賣し赤手空拳にて今日の富一千萬圓を積んで我が國貿易界の大立物となつて居る立志傳中の人と云へるがそれだけ商略にかけては抜け目なく

◇**神戸高商** に萬金の寄附學基金を寄附したり其の他の寄附も相當に出し宏壯なる邸宅を構へて立派な紳士で立つて居るが根が商人丈けに金儲けには決して人後に落ちぬ人柄で東京神戸を往來して商戰に當り湯淺貿易の實權は殆ど獨斷的に自分一人で支配して居るといふ精力家である』云々

◎此世ながら の笑の國
賑はつた東拓 の家族慰安會

東拓では廿二日午前十時から通稱洞東拓舍宅に於て社員慰安會を催した日曜日の事であり晴天であつたから社員家族が睦穏と詰めかけ坊ちゃん孃ちゃんのらしい姿が構內に一ぱいであつた昨迄には其數四百を越すと云ふ盛況で十時開會の挨拶があると構內倶樂部に特設された舞臺で御多仁和加が始まり賑やかな囃で幕が開く、輕い仁和加の滑稽に見物も輕い華やかな心持になつて唯もうアハ〱と笑ひ崩れる仁和加の次は寶探し、可愛い坊ちゃんがイの第一番に笑顏な寶を探し當てると傍に喫茶が開かれた甘酒や子供達で汁粉が繁昌する左黨はおでんや仁酒を始める、美しく着飾つた兒孃も今日だけはおでん横食ひと云ふ有樣、午後二時から再び餘興が始まり義太夫や仁和加やらで大賑はひ社員も家族の外れる程笑つて會を閉ぢたのは四時であつた、

◎お寺に役所を開設
內地も住宅大拂底
遞信事業と自動車 矢野事務官の土產話

遞信局長會議のため東上此程歸城した矢野遞信事務官の土產話に曰く

內地各都市とも一體に住宅の不足で困り切つてゐる、中にも今回增設された遞信局の所在地たる廣島と名古屋は酷いこの事殊に名古屋の如きは遞信局のみならず鐵道管理局も設けられたので官吏の

▽**移住激增** し家屋なきため家族を鄕里に返し自身は下宿住居をしてゐる役人は少くないとの事であつた然し乍ら官吏の住宅より第一に遞信局の廳舍がなく名古屋も廣島も寺を物色して借受け假事務所を開く事としたらしいが寺は廣いやうでも本堂にした所が

▽**佛壇の前** は使へぬこと云ふやうな譯だから案外見かけ程の廣い坪數がとれぬらしい住宅不足は要するに日本の家が横に擴がるためであらう西洋のやうに上に伸びる建方をするやうにならねばいつまでも絕ねぬ問題かとも思ふそれから東京などの

▽**道路は惡** くて困ると永年云ひ續けてゐるが依然として好くならぬ風があれば黄塵雨が少し降ると泥濘深く不愉快極まる少しく道がぬかるむと自動車は泥除けを附してゐるがその有樣が腰卷を纏つてゐるやうに見ね腰卷もある、帝都で自動車が

▽**腰卷を附** けねばならぬなどの國は日本でなくては見られぬ事だらう、自動車と云へば東京には三千以上ある、然し事務用に使はれてゐる數は多くなく遊びが主なやうにも見ゆる夜は殊に然り遞信省などでも遞送の

▽**一部には** 自動車を使用してゐるけれど使へば便利で迅速と思はるる取集めや配達には充當してない尤も遠からず使ふやうにはならうが遊び用自動車の多いのに拘らず斯樣な肝腎な方面に用ゐられてゐぬのは遺憾である

◇髮毛の洗ひ方
熱い湯で洗ふと赤くなる 癖なほしの廣告に迷ふな

■夏、電車の中などで女の髮の臭いと來ては實に堪へられない、婦人に取つては髮の手入といふ事は第一の必要條件である、少くとも月一回は洗はなくてはいけない、日本髮の人は二回を要する

■洗ふには矢張布海苔か椿の油粕が宜しい、少し熱い位の湯ッ金盥に七分目程つぎ、其中に二錢の布海苔を三枚程ホグして落す、先づ毛の先の方から洗ひ始め、だんだんと根元の方を洗ひ上げる此際布海苔を惜んで薄くしては汚れは落ちない

■拔しその次は其上から手の入れられる程の湯を注いでは洗ひ、幾回となくゆすぐ、上りに髮油を五六滴落した中でよくゆすげばよい、之は髮のあとの光澤を增す爲とと髮をバサ〱させない爲だ、矢鱈に熱い湯で洗ふのは髮を赤くする虞がある云つて夏季は水でゆすげば氣持が好いけれどもやゝもすれば臭味が付くから微温湯の方が宜い

■得態のしれない洗粉はいけない、と同時に惡いものでも、少々香をつけたものは椿油に越した事はない、女學校へ通ふ程度の女は月に二三回洗つて三日目に一度位づつ水油をつけて置くとサラリとした上に毛の發育を助ける事が出來る

■癖なほしに色々の廣告を見うけるが餘程注意しないと飛んだ失策をする事がある、強い藥を使つてある爲め毛の先が燃り切れたり縮れのやうに縮れて終ふ事が折々ある

■くせなほしには熱い湯の中へ入れた布を固く絞つてゴシ〱揉まずに撫ずるやうにしながら丁寧に念を入れてやるやうにすればよい、ゆるく絞つたのでは臭くなるとツケもよい品を選んで成るべく根の際へ少し宛つけるやうにすれば宜しい

◎鮮銀大連支店 二階墜つ
十數名負傷

改築中なる朝鮮銀行大連支店建築の二階は廿一日午後十時頃俄然大音響と共に墜落せり折柄夜中に拘らず進行を急ぎ作業中なりしを以て支那人土工八名負傷し中一名は生命危篤なり右復舊には約一箇月を要すべく損害約三、四千圓なりとし該工事は京城中村與資平氏の設計監督する所にて十一月中落成の豫定なりしが此被害の爲め竣工は今年中を要すべしと(大連特電)

◎小兒の樣に 飛廻つて
新龍山幼稚園の竣成式
運動を喜ばせた

新築工事中であつた新龍山幼稚園の增築工事は此程立派に出來上りましたので二十二日の日曜を幸ひ午後二時から竣成式を擧行しました

◆◆**園庭の中央** には大きな旗を立て周圍には澤山な彩旗を飾り其の下には天幕が設へて來賓の席に充てました多數のお客樣の顏を珍らしげに眺める幼兒の顏には何れも包み切れぬ嬉しさの色が溢れ小鬼のやうに躍つたり跳ねたり定刻と共に一同新築保育室に充てられた式場に參席するなり君が代の唱歌を可愛い口々に合唱し次に宮川主事の工事報告石原園長の挨拶金谷府尹の祝詞などがあつてから功勞者に

◆◆**賞品が授與** されましたそれは創立以來幼兒の保育に努力した前任保姆小松たみ子その後を引受けて今も熱心に勤めてゐる永遊ことこ子の二名とそれから今回の工事に忠實に働いた鄰工の杉山忠太郎と云ふ三人でした夫れが終つて幼兒一同の『お家作り』と云ふ唱歌があつて一先づ式を閉ぢ更に園庭で

◆◆**幼兒の遊戲** がありました輝く頰に聲張り上げて歌ふ可愛さ楓のやうな手を右に左に動かして踊るあどけなさ、幼兒よりもお父さまやお母樣の方が大滿足のお顏でほんとうに嬉しさうじ何れの方を向いても人皆の顏に微笑が深く其の兩の頰に渦を卷いてゐました、此日雨を含む風がやかに空は曇つたり照つたり流たゝしい空模樣に迷つてゐましたが幸にも雨の足が忍んで來ませんでした午後三時茶話會があつて散會

◎尊由師寫生行
朝金剛山へ向ふ

廿一日夕入城したる大谷尊由師は二十二日朝七時五十分發元山行列車にて金剛山寫生の途に就きたるが本社の古賀韶伯も同行したり

◎大田の大相撲
二日目の盛況

大田に於る合併角力二日目(廿二日)は前日來の降雨尙ほ止まず好角家をして失望せしめたるも十時頃より晴模樣を見せたる爲漸次客足を增し前日に劣らぬ盛況を呈したり打出五時廿分一行は七時の特發列車にて群山に向へり(大田電話)

◎京城興行
初日の取組
名を變更さる

京城に於ける合併相撲の初日の取組は其の他左記の通り變更したり(オは大阪方)

光風	高の山	オ若常陸
オ二瀨龍	オ敷島	オ瀧の海
南龍	吉の矢	オ朝千島
オ西の森	五十嵐	野州山
オ綾川	逆鉾	大門岩
オ島海	オ海山	オ朝日嶽
オ宇都宮	常の花	一
大泉	源氏山	オ朝日山
オ對馬洋	御西山	宮城山
オ稻の花	大錦	大錦
栃木山		
福柳		

▲**顏つなぎ** 勸進元其他相撲關係者は廿一日夜松葉亭に主なる官廳銀行新聞社員等を招待顏つなぎの宴を張りたるが各券番の綺麗所多數盃盤の間に斡旋し頗る盛宴なりし

□紹介□
▲最新式萬年筆 京城本町一丁目ポイン萬年筆製作所は滿鮮に於て唯一の設備を有し品質本位を信條として今日の盛況を見來たりしが今回新時代の趨勢に應じ一般に湯仰さるゝ理想的萬年筆の製作に腐心し茲に頭力吸入式パイン萬年筆の製作に成功し舶來の輸入品に譲るさも劣る事なき自信を有する實用上最も簡便なる優良品を發賣すと

演藝
…□…
▲黄金館 樂燕一行の浪花節、三日目樂燕の讀物左の如し 水戸黄門(若燕)廣瀨中佐、南部坂雪の別れ(樂燕)
▲壽座 喋鳥會文福一行、二十三日の替はり藝題左の如し △サンクュー△風流和尚△勘定日△猪鹿劇花役

合併大相撲と我社

我社の相撲道獎勵
京阪合併大相撲の來鮮に際し一行の景氣を添へ且つ讀者諸君の興味を深くする爲に左記各項の問題を提供致します。

◆**優勝力士に銀盃贈呈**
各力士の勇壯なる奮鬪を期する爲に關を除く)に對し大銀盃一個を贈呈して其功勞に酬ひやうと思ひます、これは本社が斯道獎勵の爲に特に出した問題で力士も眞劍になれば隨つて觀客たる讀者諸君も除程興味を感ぜらる、こと、思ひます。

◆**番外お好みや五人拔**
京城興行中は毎日幕内の番外お好み、幕下力士の五人拔き、或は初切などの面白い餘興を御覽に入れます。
鮮滿巡業中は本社各支局より毎日一組宛幕内の番外お好みを出すと共に

本紙愛讀者の福音

◆**木戸錢四割引の特典**
是は釜山興行以來實行して居ります京城興行中も勿論本紙刷込みの割引券御持參の方に限り木戸錢四十錢を廿五錢に割引する事になつて居ます。

◆**面白い勝負豫想懸賞**
京城興行五日間に於ける好取組中左の十組に對する勝負豫想を懸賞募集致します、勝と思ふ方へ○印を附けて本月廿六日迄に『京城日報社編輯局角力係』宛投書を御出下さい、審查の方法は例年本社が春夏兩場所にやつて居るのと同じです(オは大阪方)
(栃木山 對 オ對馬洋)(大錦 對 源氏山)(宮城山 對 宇都宮)(島海 對 海山)(常の花 對 オ福柳)(一 對 オ猪の港)(大門岩 對 オ大錦)(駒泉 對 大泉)(朝日山 對 オ兩國)(稻の花 對 御西山)

京城日報社

夏物頭飾品賣出し
六月廿一日ヨリ五日間
御添へ物進呈仕り候
ヒスイ 細工物
半ゑり地 化粧品
いろ〱
京城本町
日の丸小間物店
電話一九二〇番
支店 大田 中江呉服店

臨床醫家に告ぐ
アンチベリベリン療法の旗幟朔風に飜りてより八年驕敵却て降使を軍門に送る今に於て誰か逆に與して最愛の兒を殺すものぞ茲に大正七年中注射液のみの需要數を見るも既に適に五十萬筒を超過するに至れり是豈時運の大勢を事實に反證するものにあらずして何ぞや江湖の諸賢乞ふ其の効益を享くるに於て徒に踏躊逡巡することなかれ

說明書送呈す

陸軍一等軍醫正ドクトル 都築甚之助氏發見
日英米獨政府 專賣特許
かつけ新藥 アンチベリベリン
發賣元 東京市麻布區笄町 南信堂藥局

みだれ咲き

第六十七回 島山碧波作 森田久畫

開田の大江を通ふ一錢蒸汽の客となり、夢香洲の春花園を訪れようこした牧野ミ初江が、今しも東岡から西へ渡らうとした時、摺れ違つた一人の老人は、牧野の背後から聲を掛けて佇んだが、相手の顏を眺めて非常に驚いた運轉手の牧野は。

『おう君は次郎吉さんだね』

是れから訪れようこした其男に聲を掛けられたのであるから、傍に佇む初江に目配せをして老人の片袖を攫んだ、するミ次郎吉老人は初江の方へ面を向け。

『おや奥樣でございますか、唯今市川から御上京ですか』

『はい……いゝ……』

初江の返辭は言葉の末が一寸亂れた。

『實は唯今市川へ貴女樣をお尋ね申す處で御座いました』

夫れミ聽いた初江は。

『あら私をですか』ミ云つて牧野ミ顏を見合せ。

『私達もお前さんを是れから尋ねて行く處でしたわ』

『へエー私を？』

次郎吉老人は呆氣に取られたやうな顏付きをして。

『一體私を何處へお尋ねなさるこころでした』

牧野は一寸微笑を浮べて。

『次郎吉さん、君がお孃さんミ一緒に邸を出たのが判つて居るから、屹ミ春花園だらうミ思つて尋ねて行く途中なんだ』

『成程さうか、然し俺ミ春花園の林造ミは喧嘩をしたから骨が舍利になつても彼奴に物を頼みには行かねわよ』ミ、云つて牧野を見上げたり見下して居たが。

『然し奥樣ミお前が一緒は可笑しいな』

彼れは小首を傾けながら何か考へに沈んで居た。

『其のこミは後で話すが、お前はお孃樣を何處へお連れ申したのだね、其のこミに就いて邸でも騷いで居るが奥樣も大變御心配をなさつて居るのだ』ミ、詰つた牧野は相手を腹の黑い男ミは信じて居ぬから夜來の出來ごこを落ちもなく告げ。

『さう云ふ理由で是れから春花園へお前を探しに行く心算だつたがごうかお孃さんの居らつしやる處を敎へて與れ』

斯う云はれるミ、默して首肯いた次郎吉は。

『實は今も云つた通りで俺はお孃樣のお使で市川へ行くこころだつたが此處で奥樣にお目に掛つたのは何よりだ』

落付を拂つて斯う云つた次郎吉老人は、底光のする眼を睜つて牧野ミ初江の擧動を注視した。

『あら私のこころへ？』

我れ知らず大きな聲を出した初江は。

『夫は一體ごんな用なんだい』

『外ではありませんが、お孃樣は御前樣のこころへ一寸行つてくるから内地へ御前がお歸りになるまではお邸へ入らつしやらぬやうに申し上げて呉れミ云ふこミで御座いました』

『あらさうするミお孃樣は朝鮮へ行らつしやつたのかね』

驚くべき報告に接した牧野は、思はず知らず大きな聲を出して次郎吉に訊した。

『ウン左樣だよ、俺は京城までの切符を買つて汽車にお乘りになつたお二人を東京驛でお見送り申したよ』

『お二人を？』

『ウン若樣ミ御一緒で……』

次郎吉は斯う答へた後。

『尤もお孃樣がお邸を出られたのは牧野お前から起つたことなんだぜ』

『ナニ僕のためにお孃樣がお邸を出られた』

『さうだ、お孃樣はごの位お前を怨んで居らつしやつたか判らないが、話せミ云ふなら話しても宜いが斯んな處で立話も出來無い』

ミ、云つた次郎吉は依然ミして牧野ミ初江の一擧一動に細心の注意を拂つて居る。

◎ペンキの汚點を取るには

著物にペンキがついたのを何ういふ風にして拔いたらよいかミ申しますミ、先づ鈍刀で叮嚀に削り去り次にテレピン油を用ゐて數回乾性油（ペンキは塩基式炭酸鉛を煮沸した乾性油で練つたのですから）を溶解し去り塩基式炭酸鉛を遊離させ乾燥後殘つてる白色粉末をブラシで取り去り更にベンゼンを用ゐて仕上げを施すこミ樹脂の汚點拔きミ同樣にすればよろしう御座います

新刊紹介

▼有効の活動（六月號） 柔道家の平素の注意を怠るまじき事項（嘉納治五郎）國民的體育（三土忠造）歐羅巴で持囃さるゝ日本文明（杉森教授）道德館卒ミ柔道（岡村四段）初心者手引（村上五段）等、廿五錢東京小石川區大塚坂下町一二四柔道會本部

▼講談倶樂部（七月號） 收められたる講談數篇、何れも古き事實を新しき作家が起稿せるものにて在來の講談の如く荒唐なる點なく家庭に於ても讀むを得べく倂せて柳浪、晩村、俊亭等の老大家の新小說並びに女優月且 紛入小說落語等をも掲載せり、口繪には洗涯其他の艷麗なる美人畫を掲載す（四十五錢東京市本郷區駒込阪下町講談社）

夜店の領分

▲平南満年兄不肖の住所姓名未だの如し兄識古、祠を自識あらば早速文通かなふ赤鐵稻魂兄兄の窮氣を壯さす予に兄の如く腐敗の天地に行動致し度く思へごも自己の現時の境遇上山根之不許ざれごも一應愚生に文通を願ふ（京城鍾路公平洞百六十二秋月斎殷太郎）

▲近頃又旱になるミ京城水道は高地では一滴の水も早くから出ない一體『無きは振られぬ』と申して居る水源地の大擴張を行つて水を潤澤にする樣に茲に與十萬圓を投げ出す篤志家は無いものか、かゝ（水道心配生）

▲新華歌人に共鳴すあゝ言ふ歌のあるこミは良くない事であるなまぬるいさうだ良く言つたものだれ官報協感を生々しく明ひ流されはいけぬ（笛歌人）

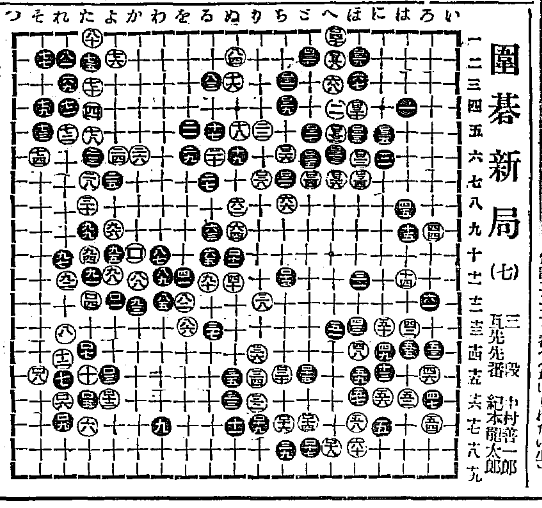
▲一錢入小錢を以て小額紙幣ミ普通紙幣ミ異なるこミなく立派に交換が出來ます紙幣一枚に對して半分破損は半額五分二破損は全額になります地方の銀行でも依鶴せば郵税を拂はざるも京城鮮銀ミ直接に交渉するので日數は掛ります以上の通りなれば外の處は少し位の破損でも差支はないです（注意生）

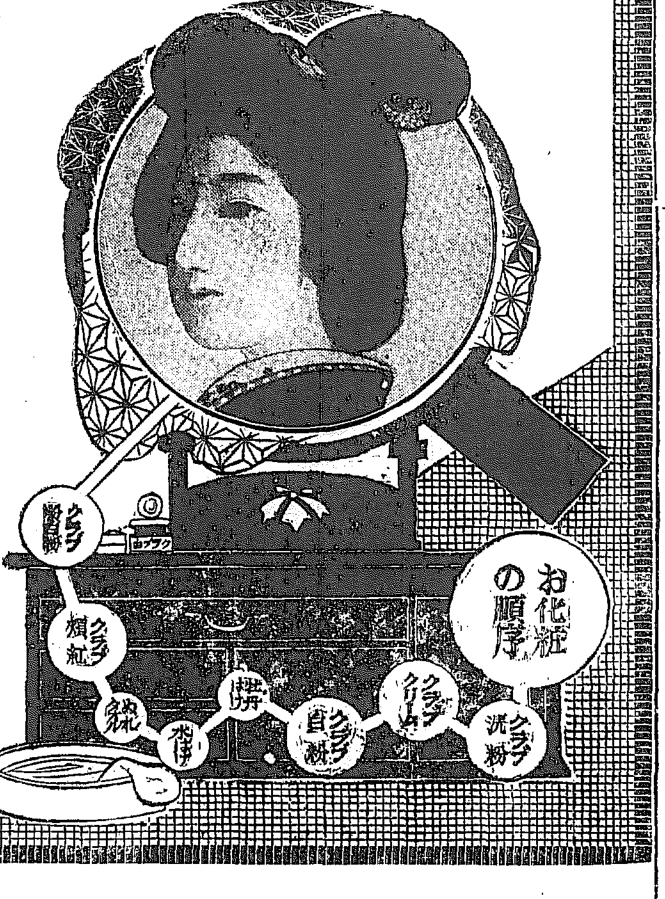
▲世の中は妙なものだなんでも金だ金だミ云ふが亦金よりは信用が大切だミ云ふ信用は最も論價の正しい人に多くあるやうに感ぜられる一例だが郵の性でミ云ふ人心の中で思つて皆はくはきするくに放つて仕舞ふ人は共に信用を散らして居る樣なものだ（木魚生）

▲外日京山本願寺に於て瀧原氏引偕の節雨傘間取鮮の方はなきや御心當りの節は話二二二番へ（かけられたい生）

圍碁新局（七）

三段 中村善一郎
五先先番 紀本龍太郎





奥樣もお孃樣も美しいお化粧を遊す方は皆この

クラブ白粉

BONAMI

理想的ボンアミー萬磨料

◎何んでも磨ける理想的磨料

一、窓硝子、鏡、鐵、鋼、眞鍮、アルミニーム、白銅等の食器及器具類、エナメル、大理石、電球、料理用鍋、ナイフ及フオーク等を磨くには『ボンアミー』

一、各種の陶器、茶碗、洋食皿のあぶら、茶しぶ、洗面器等を清淨にするには『ボンアミー』

一、ペンキ塗、木製品の汚れには『ボンアミー』を用ゆれば生地を損傷することなし

◎使用法

一、硝子、鏡を磨くには水に浸したる布片にて薄き泡を生ずるまで『ボンアミー』をこすり泡を少しく硝子、鏡面に塗布し乾布にて拭取るべし

一、金屬のつや出しは硝子ミ同樣『ボンアミー』を塗布し錆を溶解する迄て金屬をこすり後拭取るべし

各地の有名なる藥店、金物店、荒物店、小間物店、雜貨店、ガラス店等にあり

紐育ボンアミー會社朝鮮總代理店
仁川海岸町一丁目
英商ベンネツト商會
電話二〇一番

特約販賣店
京城本町 龜屋商店
京城本町 明治屋京城支店
仁川 美濃谷榮次郎商店
木浦福山町 三津和商店

懷中要藥 清心丹は
人魚印東京高木與兵衛製
此外は皆惡い僞物!!!
暑氣不快 嘔吐 下痢 過食 過酒 胃腸を健にし口中清凉氣分を爽にす

京城本町一丁目二九（江戸川横入）
利根川齒科醫院
利根川清治郎
診療時間（自午前八時 至午後七時）

最上醬油
朝鮮仁川尾
高杉醬油釀造場

EUKIRIN

神經衰弱特效

ユーキリン

本品ハ營養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱。陰萎。營養不良。結核諸症。腺病。重病回復期ニ適ス

本品ハ帝國大學敎授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士創製ノ吸收性同化性燐劑ナリ

粉末 二五瓦入 金七拾五錢 錠劑 百錠入ノ金八拾錢

說明書アリ進呈ス 各地有名藥店ニテ販賣ス

東京室町 三共株式會社

諸君の家庭に是非必要なる

常備 携帶

安川ヨロダイン

定價 五十錢 一圓

效能 いつう○ふくつう○食あたり○はき下し どくけし○きつけ○づつう○めまい○そつこう○たんせき○さけよい○ふねよい

○本品を常に少量づゝ服用せば精神爽快となる

東京日本橋上槇町三 藥劑師 安川榮次郎 振替東京二四九一番

（全國藥店にあり）

大阪商船汽船出帆

（仁川出帆）

△大阪行 △安東丸 ▲信濃川丸 六月十八日 六月十七日 正午出帆

（元山出帆）

浦潮行 ●安平丸 六月二十日 後十二時 ●釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 六月廿六日 後九時出帆

（大連出帆）

上海、基隆、打狗行 ●基隆丸 七月一日 前六時 ●湖北丸 六月廿六日 後六時出帆

内地各港出帆主要航路

歐洲行 一年四回 北米行 毎月一回 南米行 一年四回 孟買行 毎月一回 濠洲行 毎月一回 南洋行 毎月一回

御注意 ◉外航航路乘船ノ方ハ本船出帆二時間前迄ニ乘船相成度候 ◉切符發賣仕候 △印一等客御斷

大阪商船株式會社仁川支店 電話二三番二一〇番五〇番
内國通運會社支店 京城南大門通
京城本町二丁目 電話七〇八番

◎日本郵船仁川出帆

大連、天津、牛莊行 濟州丸 六月廿九日正午出帆 高砂丸 六月 日正午出帆 相模丸 六月十九日正午出帆

都合ニヨリ早發スルコトアルベシ

仁川海岸町一丁目 電話十番 郵船回漕部

互光商會汽船出帆廣告

◎元山西湖、城津、清津行 第三榮丸 六月 日釜山發 六月 日元山發

◎門司、宇品、神戸、大阪行 第二榮平丸 六月二十日元山發 六月廿二日釜山發

釜山 大池回漕部 元山 田口回漕店 電話一二三

朝鮮郵船出帆

天候ノ關係ニ依リ出帆日時變更スル場合有之候ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店ニツキ御承合被下度候

▲敦賀行 清津發、城津、元山、經由 立神丸 六月 日 清津發 六月 日 元山發

▲浦汐行 清津經由 大阪發、門司、釜山、元山、城津 越後丸 六月 日 釜山發 六月 日 元山發

▲雄基行 關門發、釜山、各港經由 京畿丸 六月 日 釜山發 六月 日 元山發 雄基丸 六月十八日 元山發

元山雄基線 元山起點各港經由雄基間往復 鏡城丸 六月 日 元山發

▲大阪行 釜山發、清津城津、元山、釜山 關門、神戸經由 越後丸 六月 日 元山發 六月 日 釜山發

▲關門行 清津發、城津、元山、各港經由 平壤丸 六月 日 元山發 六月 日 釜山發 咸鏡丸 六月 日 釜山發

▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由 迎日丸 六月 日 釜山發

▲釜山浦項線 釜山浦項間毎日一回出帆

▲濟州島行 釜山發 昌平丸 六月 日 釜山發

▲濟州島行 木浦發 東廻 公州丸 六月 日 木浦發 西廻 慶興丸 六月 日 木浦發

▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復 釜山、麗水相互ヨリ毎日一回出帆

▲木浦麗水線 木浦發釜山行麗水ニテ接續 順天丸 六月 日 木浦發

▲多島海行 木浦發多島海各島行 金浦丸 六月 日 木浦發

▲木浦行 仁川發各地經由 至州丸 六月 日 仁川發

▲海州行 仁川發江華島經由 仁川、海州相互ヨリ毎日一回出帆

▲鎮南浦行 仁川發各港經由 晉州丸 六月 日 仁川發

▲大連行 青島行 仁川發之罘經由 江原丸 六月 日 仁川發

○朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡ノ便アリ

本社 京城南大門通（電話長一九五 二二三）
釜山支店 釜山佐藤町
元山出張所 元山海岸通
仁川回漕部 仁川代理店
木浦回漕店 木浦代理店
京城荷客取扱店 山野回漕部
京城大門驛前 松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店 電話長一一七〇